

IV 調査結果

□ 暮らしや生き方について

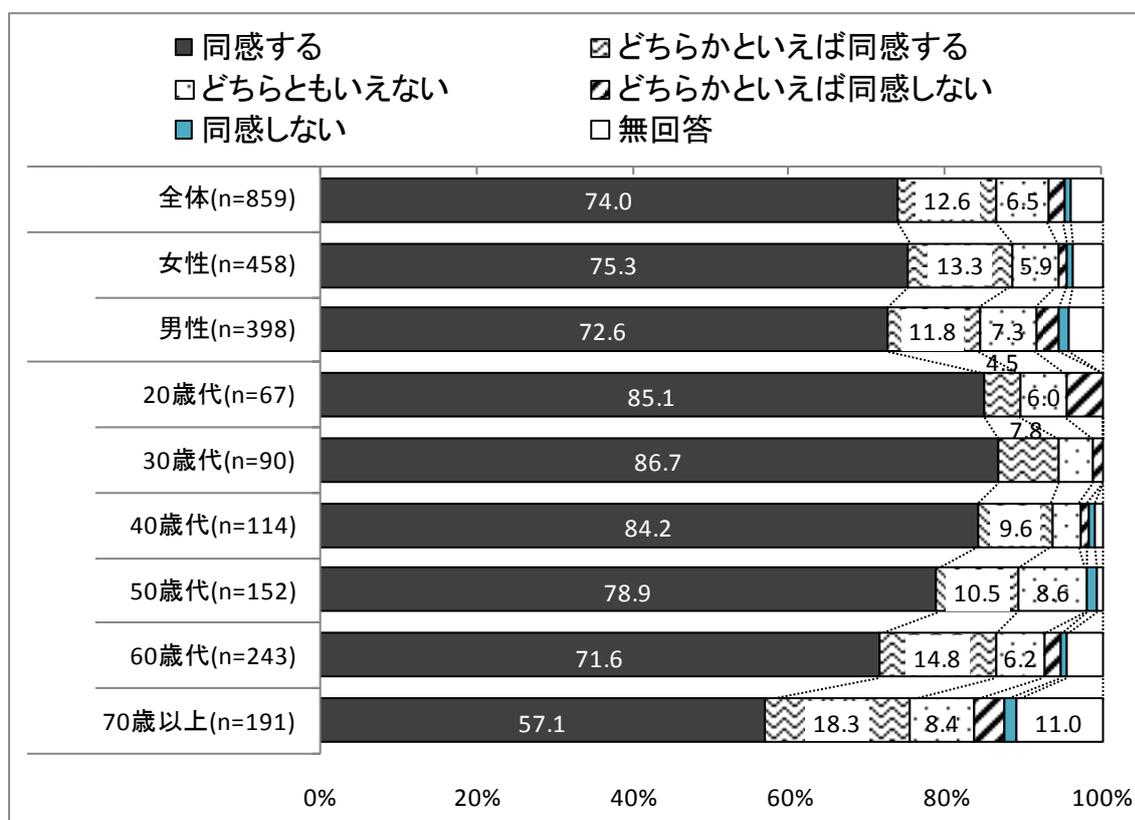
問7 結婚観、家庭観に関する意識について

あなたは、結婚、家庭、離婚についてどのように考えますか。下の選択肢から1つ選んで番号を記入してください。

① 結婚するかしないかは個人の自由である。

⇒ 「結婚するかしないかは個人の自由である」に同感する方が80%を超えた。

結婚するかしないかは個人の自由である（全体・性別・年代別） 単位（%）



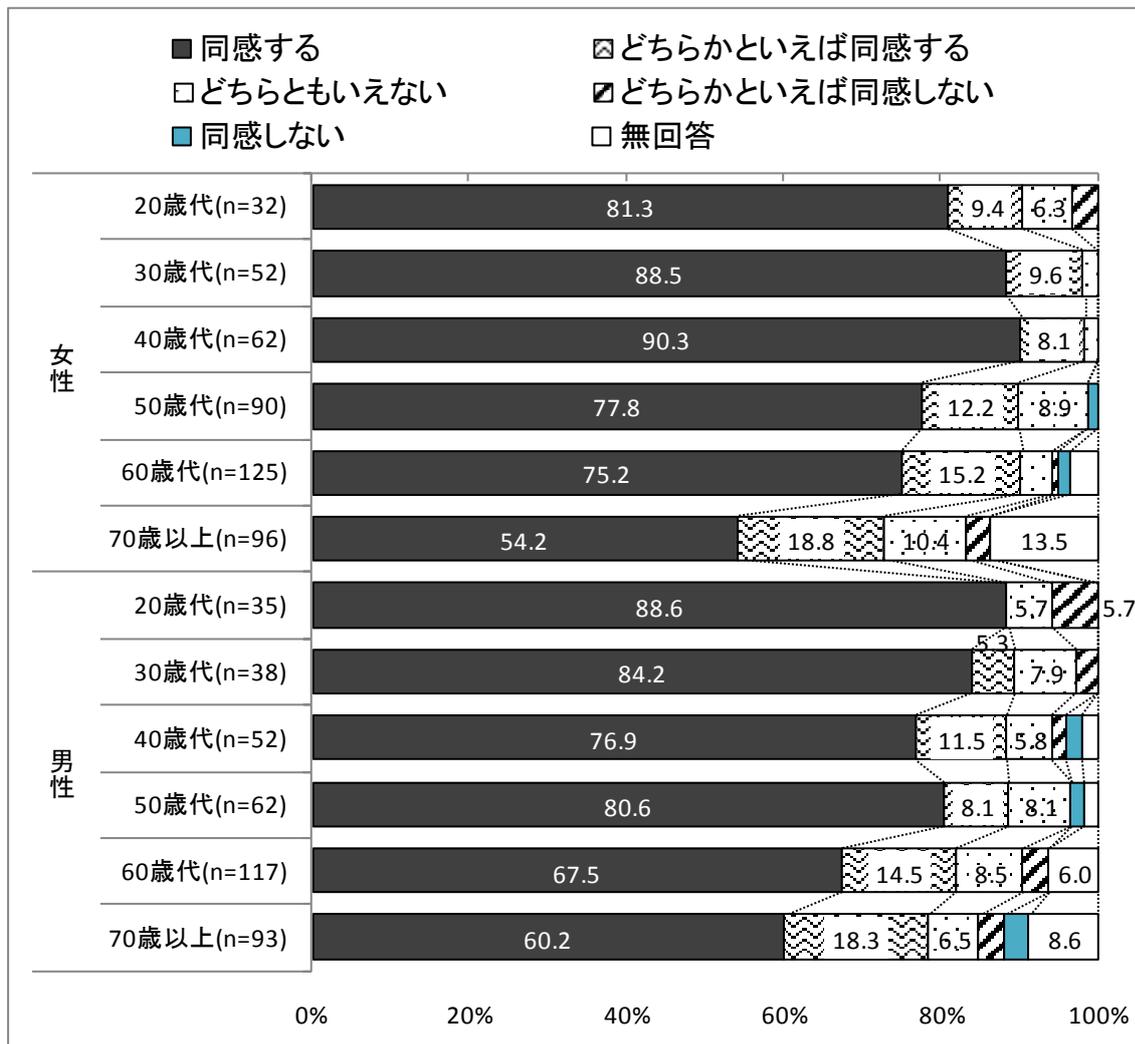
「結婚するかしないかは個人の自由である」という考え方について聞いたところ、全体では、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が86.6%と最も高くなっている。

性別で見ると、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が、女性では88.6%、男性では84.4%となっている。

年代別で見ると、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、年代が若いほど高くなっているが、20歳代では30～40歳代より低くなっている。

結婚するかしないかは個人の自由である（性×年代別）

単位（％）



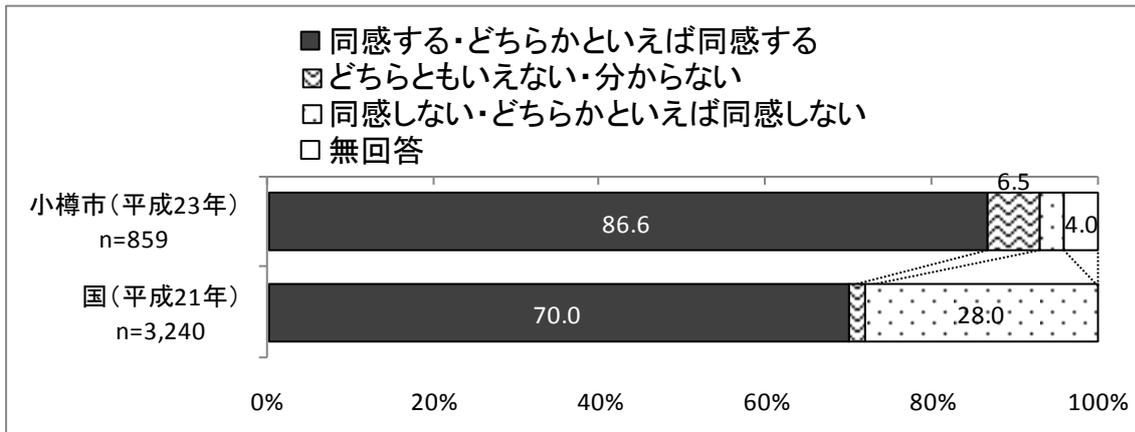
性×年代別で見ると、女性では「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が、20～60歳代で90%を超えている。

男性では、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が、70歳以上を除く全ての年代で80%を超えている。

また、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、男女とも年代が若いほど高い傾向となっている。

結婚するかしないかは個人の自由である（国との比較）

単位（％）



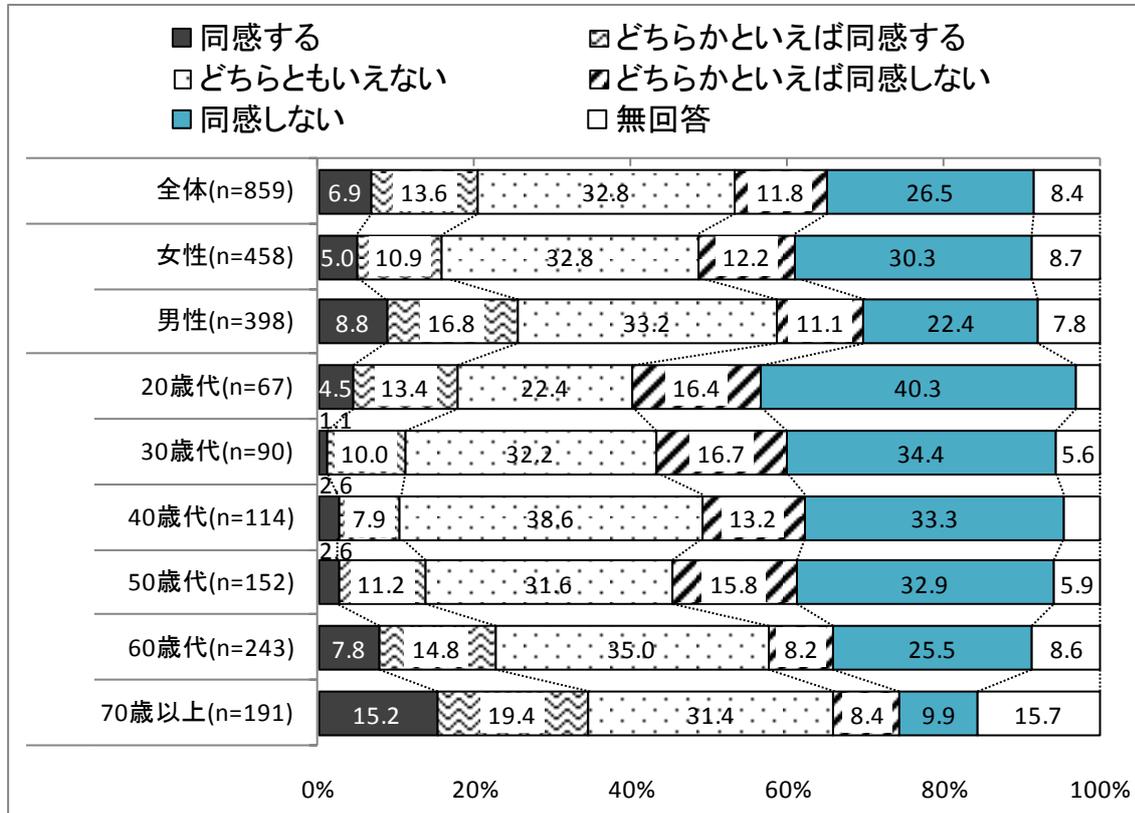
国と比較すると、「同意する・どちらかといえば同意する」の割合は小樽市の方が高く、「同意しない・どちらかといえば同意しない」は小樽市の方が低くなっている。

② 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」だと思う。

⇒ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」に同感しない方の割合が高い。

夫は外で働き、妻は家庭を守るべき（全体・性別・年代別）

単位（％）



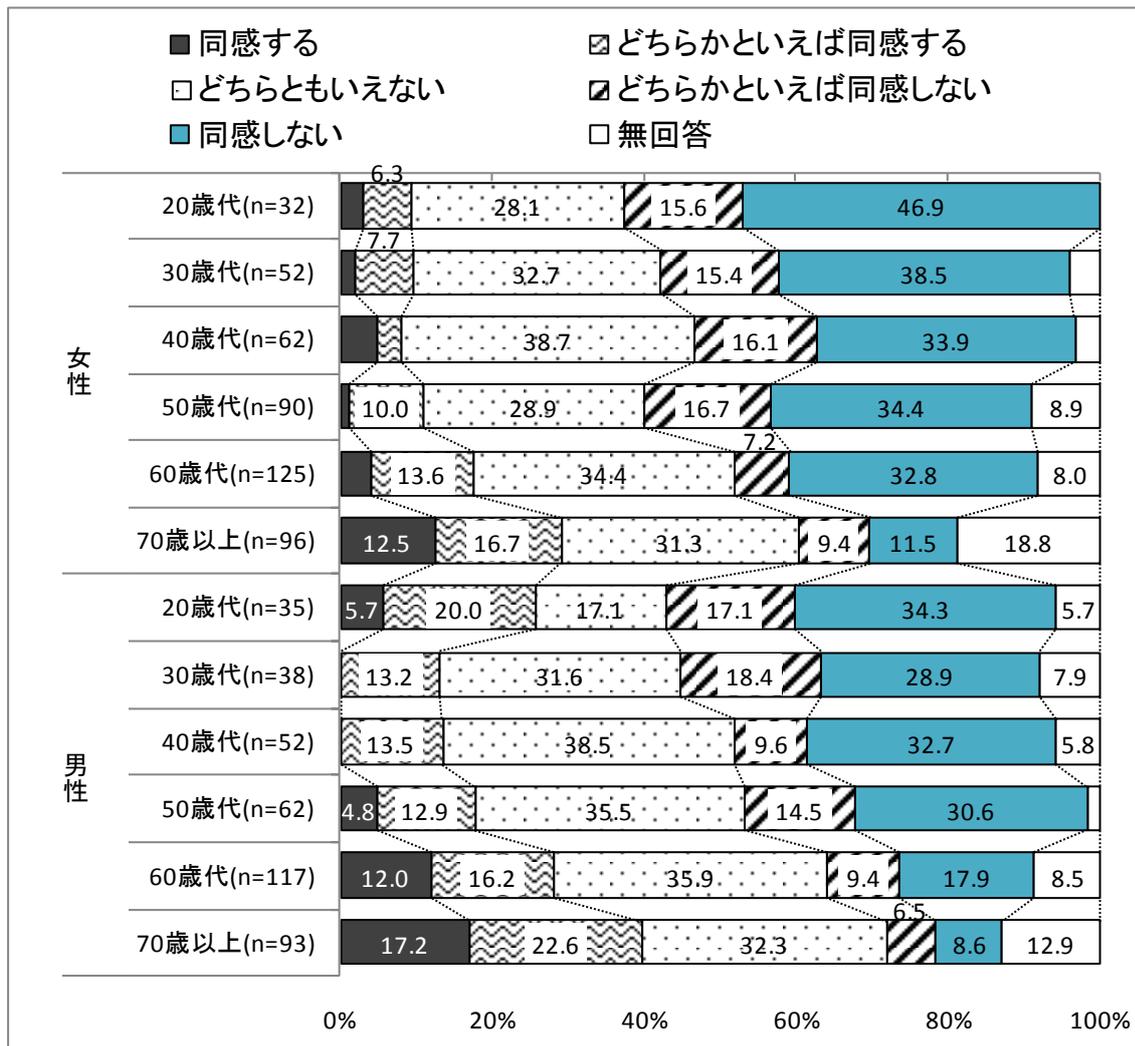
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について聞いたところ、全体では、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の割合が38.3%で、「同感する」「どちらかといえば同感する」の20.5%を上回っている。また、「どちらともいえない」が32.8%となっている。

性別で見ると、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の割合は、女性の方が9.0ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の割合は、年代が若いほど高い傾向となっている。また、「同感する」「どちらかといえば同感する」は、20歳代では17.9%となっており、30～50歳代を上回っている。

夫は外で働き、妻は家庭を守るべき（性×年代別）

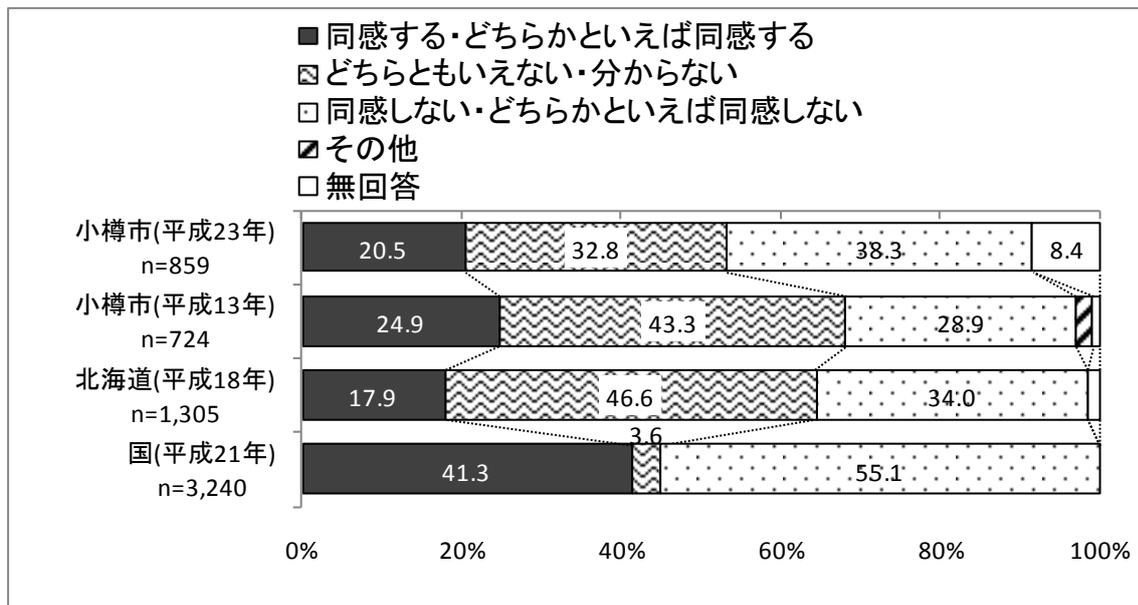
単位（％）



性×年代別で見ると、男女とも「同意しない」「どちらかといえば同意しない」の割合は、年代が若いほど高い傾向となっている。

また、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、男女とも年代が上がるにつれて高くなってはいるものの、男性の20歳代では25.7%となっており、30～50歳代を上回っている。

夫は外で働き、妻は家庭を守るべき（前回調査・北海道・国との比較）単位（％）



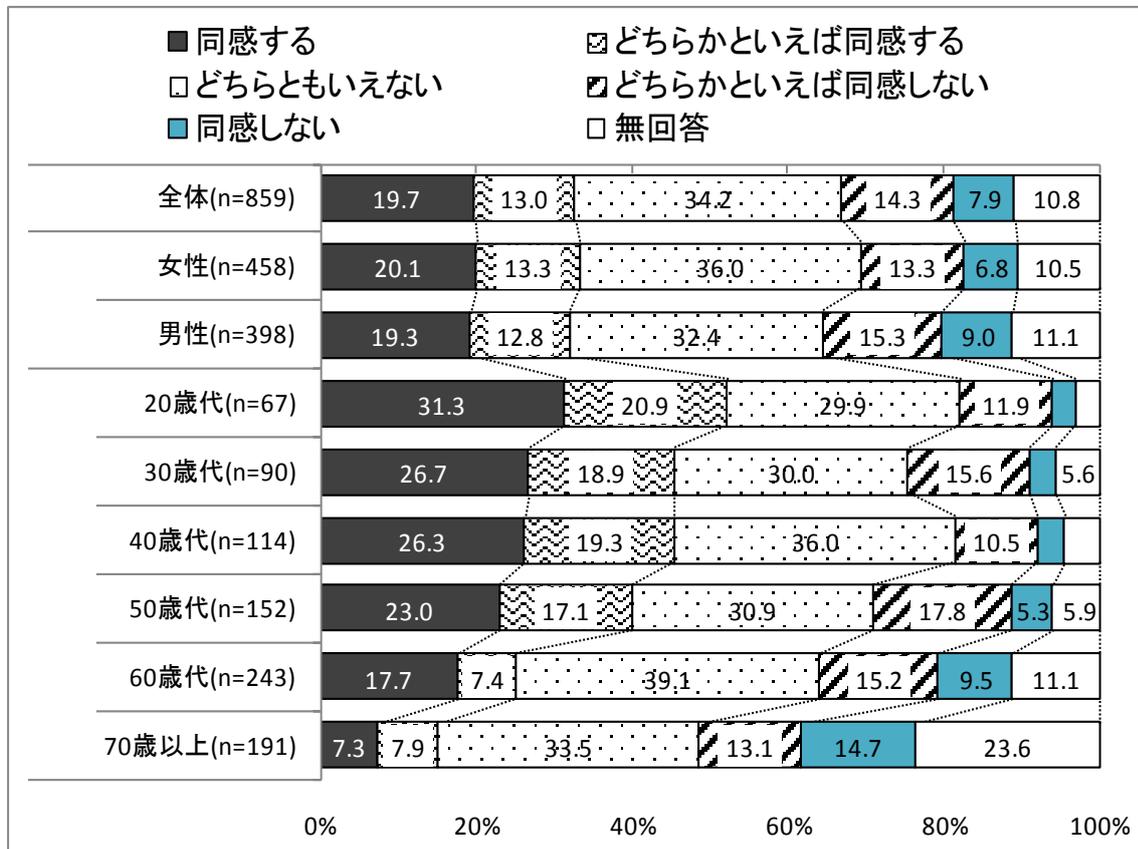
前回調査と比較すると、「同感する・どちらかといえば同感する」の割合が減少し、「同感しない・どちらかといえば同感しない」が増加している。

北海道、国と比較すると、「同感しない・どちらかといえば同感しない」の割合が、「同感する・どちらかといえば同感する」を上回っており、同じ傾向となっている。

③ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない。

⇒ 「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」に同感する方の割合が高い。

結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない（全体・性別・年代別）単位（％）



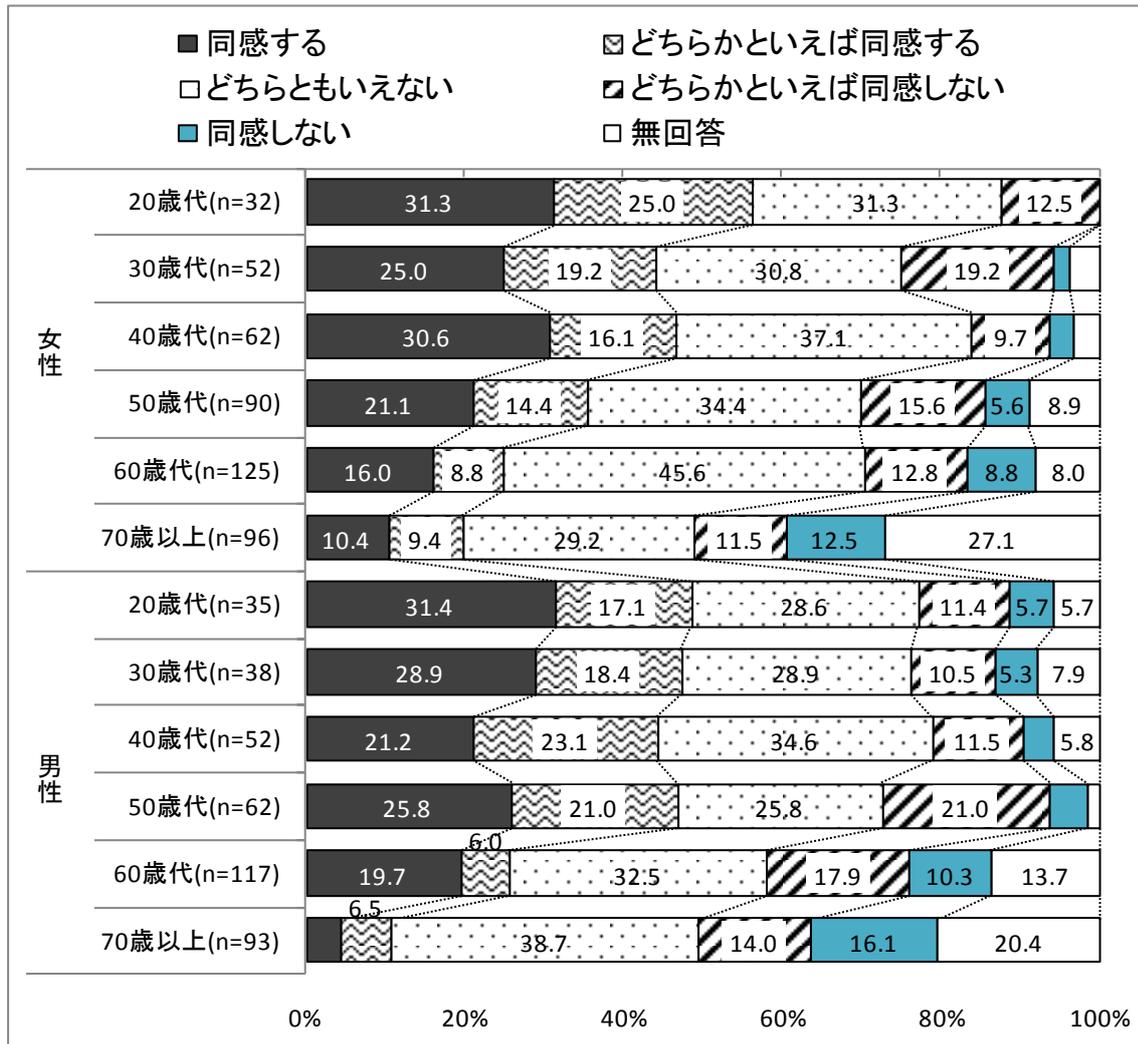
「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方について聞いたところ、全体では、「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合が32.7%で、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の22.2%を上回っている。また、「どちらともいえない」が34.2%となっている。

性別で見ると、男女による違いは余り見られない。

年代別で見ると、「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合は、年代が若いほど高くなっている。

結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない（性×年代別）

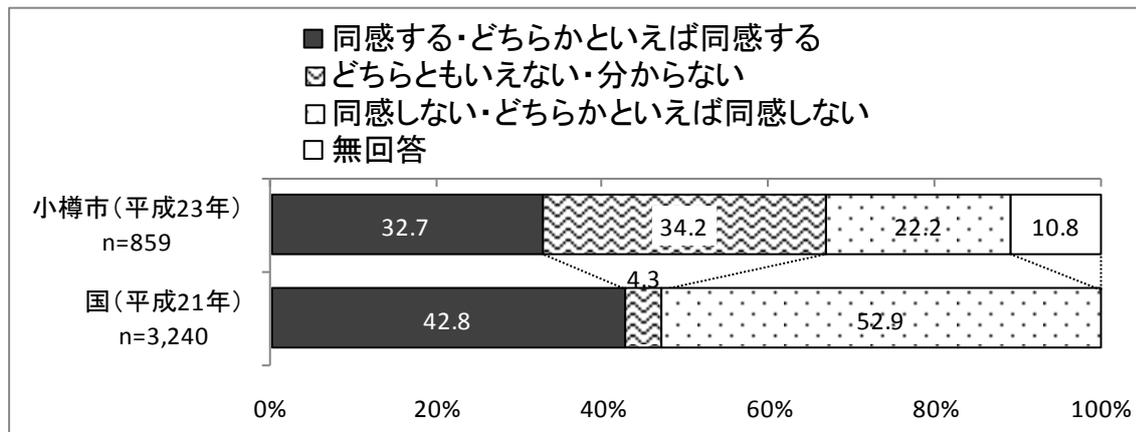
単位（％）



性×年代別で見ると、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、男女とも年代が若いほど高い傾向となっている。

結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない（国との比較）

単位（％）



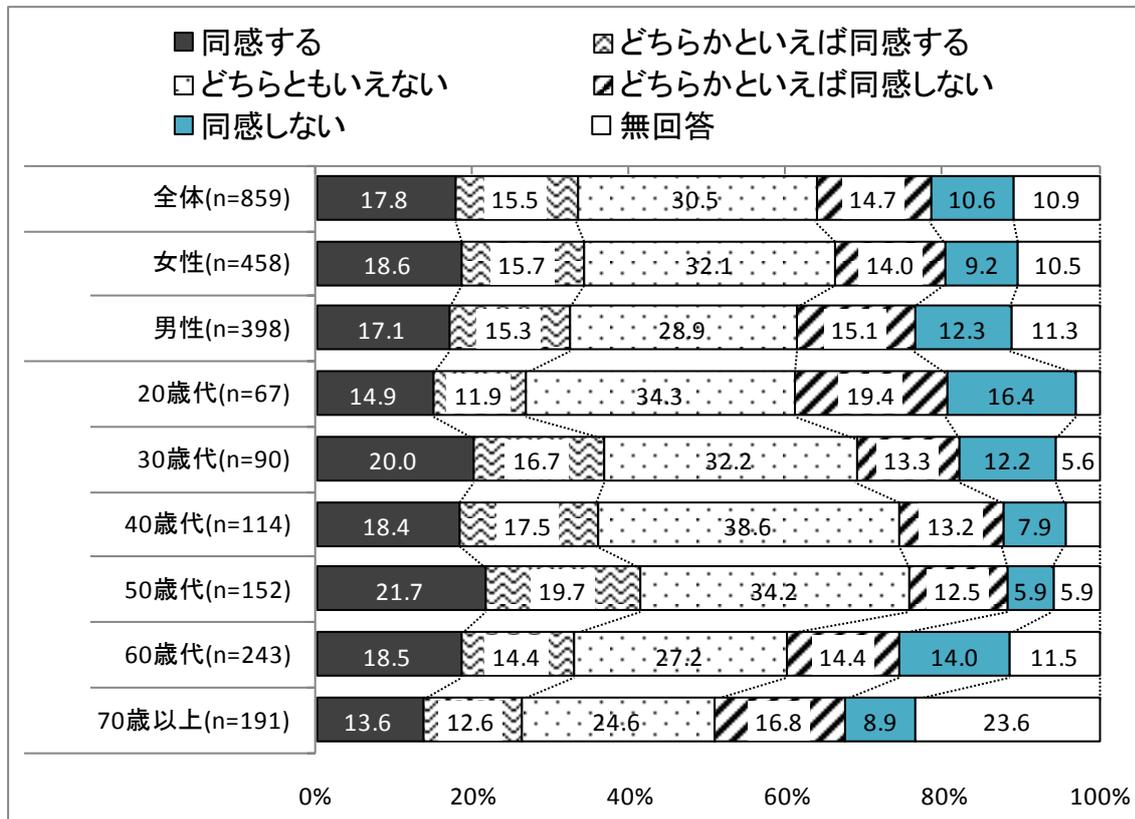
国と比較すると、国では「同感しない・どちらかといえば同感しない」の割合が、「同感する・どちらかといえば同感する」を上回り、小樽市とは逆の傾向となっている。

④ 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい。

⇒ 「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」に同感する方の割合が高い。

結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい（全体・性別・年代別）

単位（％）

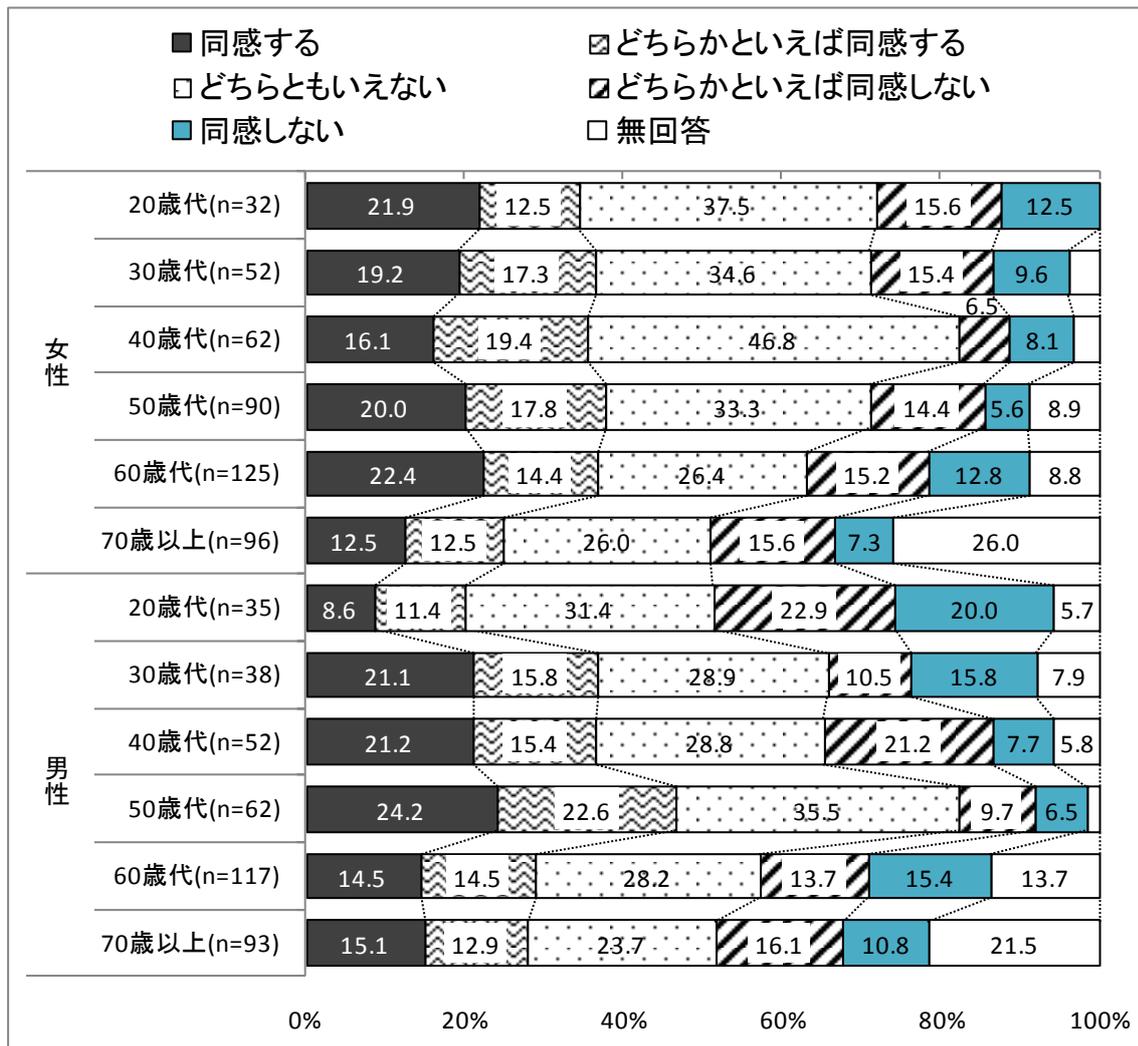


「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」という考え方について聞いたところ、全体では、「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合が33.3%で、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の25.3%を上回っている。

性別で見ると、男女による違いは余り見られない。

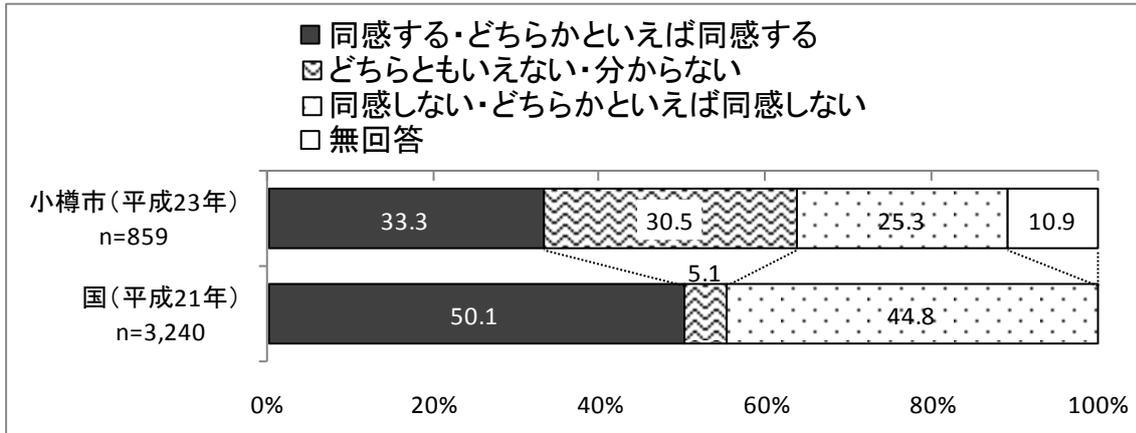
年代別で見ると、「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合が、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」を上回る傾向にあるものの、20歳代では「同感しない」「どちらかといえば同感しない」が「同感する」「どちらかといえば同感する」を上回っている。

結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい（性×年代別）単位（％）



性×年代別で見ると、男女とも「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が、「同意しない」「どちらかといえば同意しない」を上回る傾向にあるものの、男性の20歳代では、「同意しない」「どちらかといえば同意しない」が、「同意する」「どちらかといえば同意する」の約2倍となっている。

結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい（国との比較）単位（％）



国と比較すると、「同感する・どちらかといえば同感する」の割合が「同感しない・どちらかといえば同感しない」を上回っており、同じ傾向となっている。

問8 家庭内での家事分担について

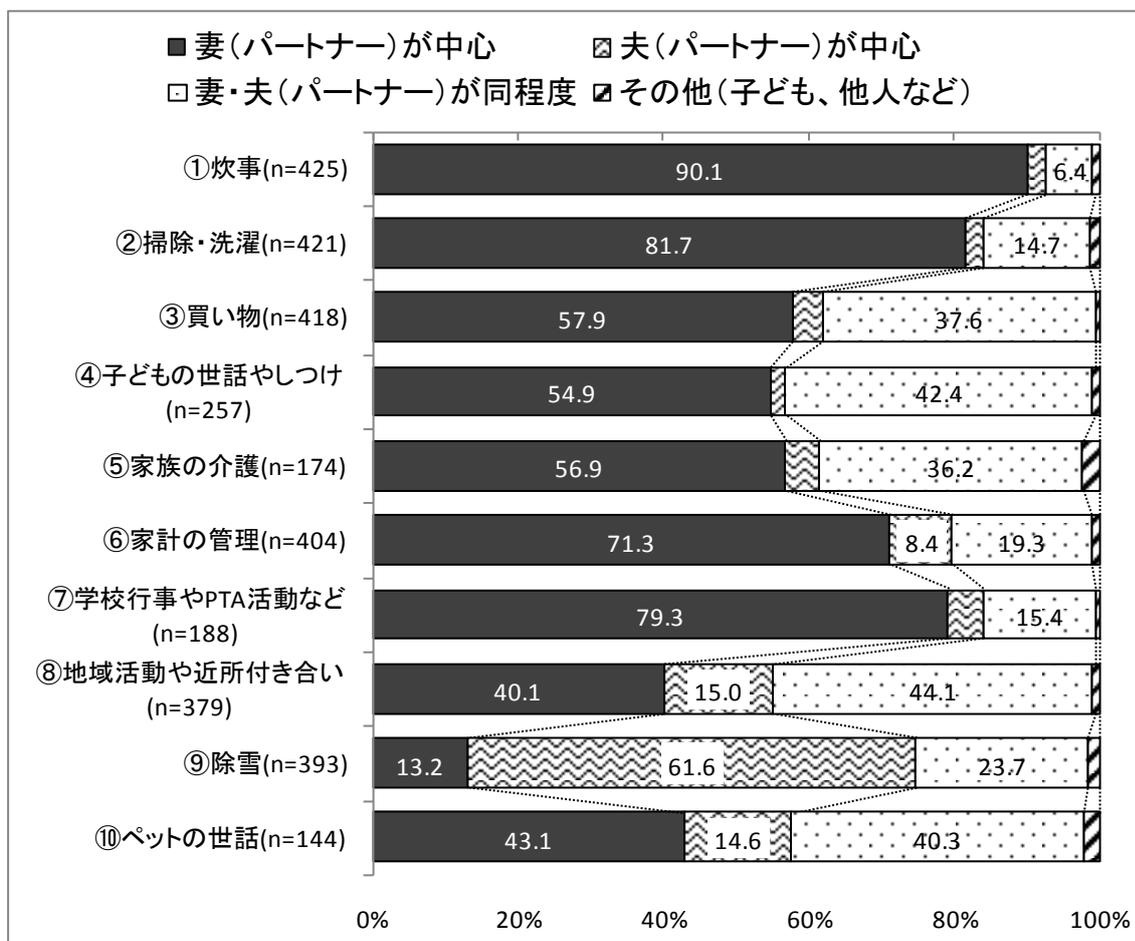
問5の結婚で「①、②」に○をつけた方に伺います。あなたの家庭では日常の家事をどのように行っていますか。次の項目について、下の選択肢から1つを選んで番号を記入してください。

※ 問8のグラフは、「この家事自体がない」「無回答」を除いて作成しています。

⇒10項目中、7項目(①～⑦)の家事は「妻が中心」で、「夫が中心」なのは除雪のみ。

家庭内での家事分担について (全体)

単位 (%)



上記10項目の家庭内の家事分担について聞いたところ、①～⑦の7項目は「妻(パートナー)が中心」に行われており、特に「炊事」「掃除・洗濯」「家計の管理」「学校行事やPTA活動など」については、「妻(パートナー)が中心」の割合が70%を超えている。

「地域活動や近所付き合い」「ペットの世話」については、「妻(パートナー)が中心」の割合と「妻・夫(パートナー)が同程度」が、40%台で拮抗している。

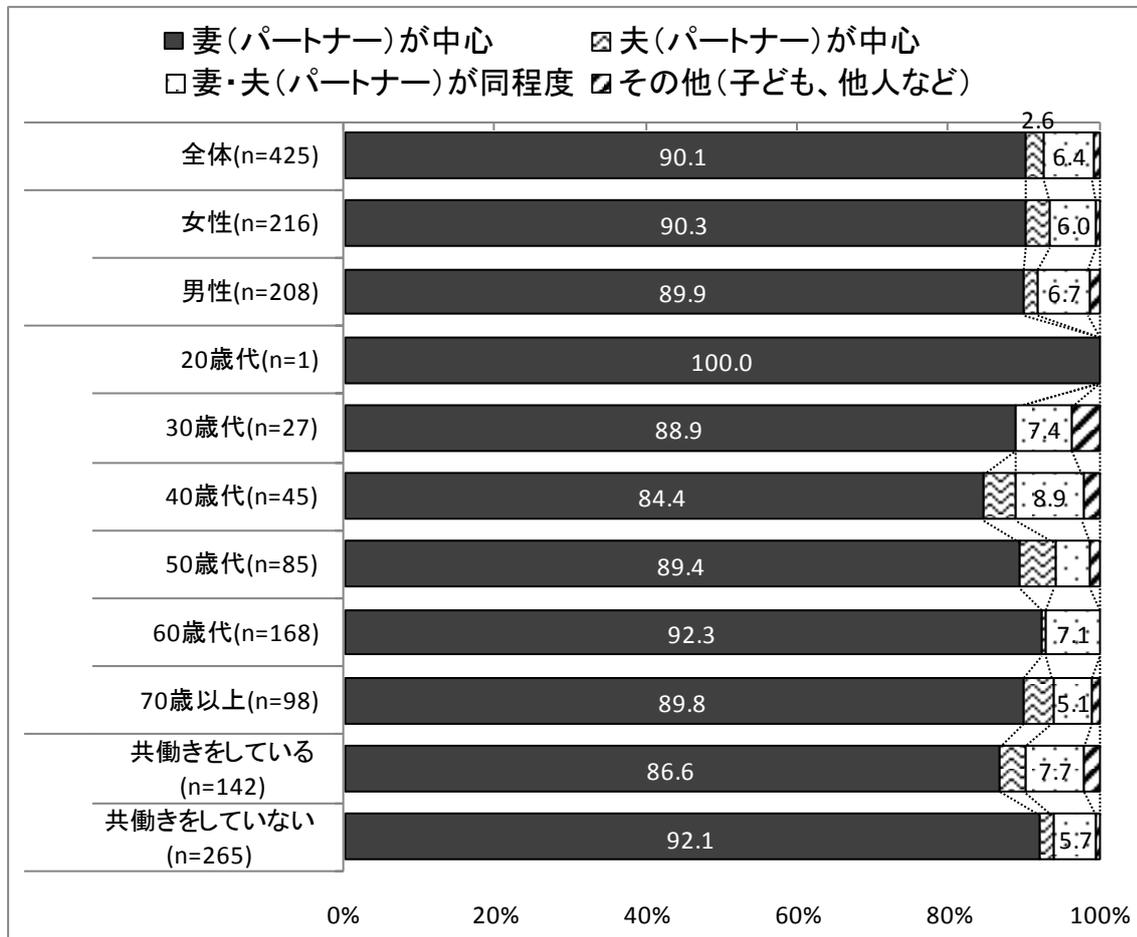
「夫(パートナー)が中心」に行っているのは「除雪」のみとなっている。

① 炊事

⇒ 「妻が中心」の割合が高い7項目中第1位で、その割合は約90%

炊事（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（%）



炊事については、全体では、「妻（パートナー）が中心」の割合が高い7項目中第1位で、その割合は90.1%と最も高くなっている。「夫（パートナー）が中心」「妻・夫（パートナー）が同程度」は9.0%となっている。

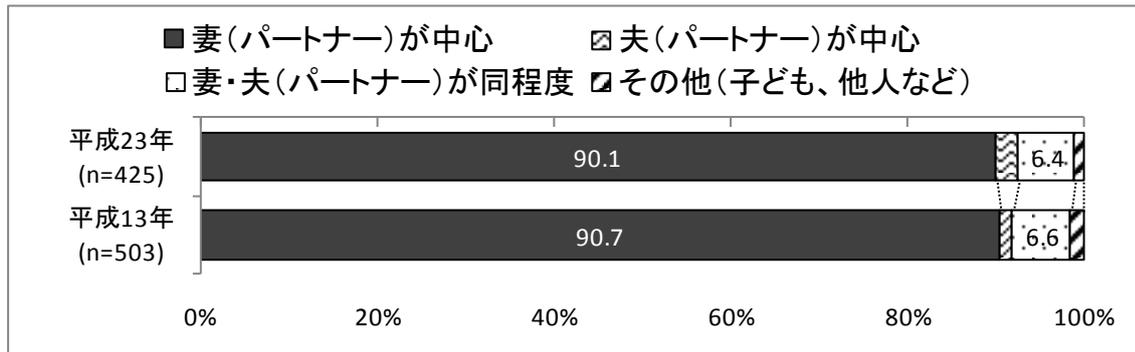
性別で見ると、男女による違いは余り見られない。

年代別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合が、全ての年代で最も高くなっている。

共働き別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、共働きをしていない人の方が高くなっている。

炊事（前回調査との比較）

単位（％）



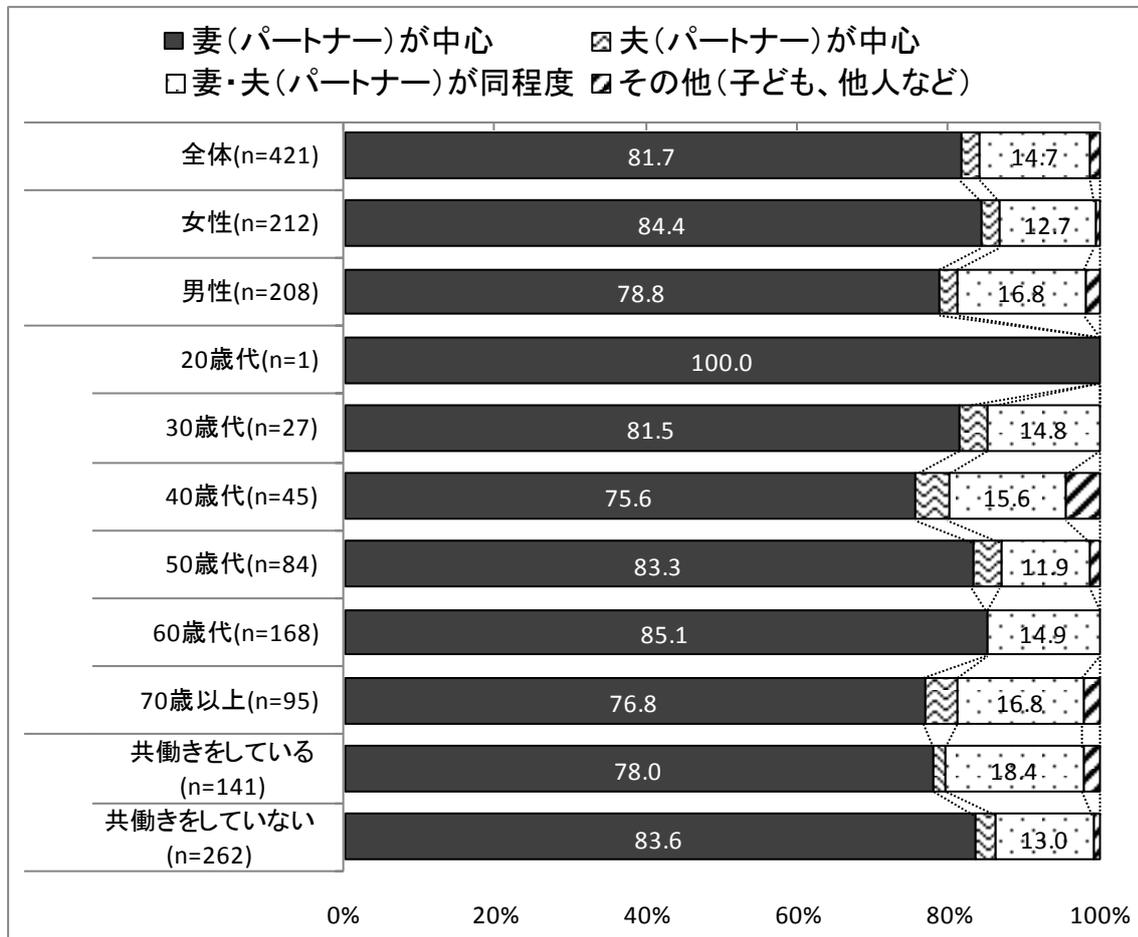
前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。

② 掃除・洗濯

⇒ 「妻が中心」の割合が高い7項目中第2位で、その割合は約82%

掃除・洗濯（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（%）



掃除・洗濯については、全体では、「妻（パートナー）が中心」の割合が81.7%と最も高く、炊事に次いで「妻が中心」の割合が高い項目となっている。

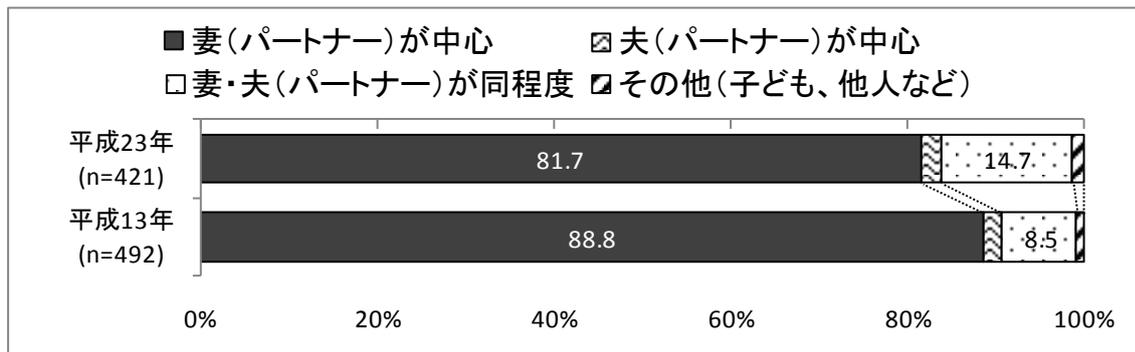
性別で見ると、男女による違いは余り見られない。

年代別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合が全ての年代で70%を超えている。

共働き別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、共働きをしていない人の方が高くなっている。

掃除・洗濯（前回調査との比較）

単位（％）



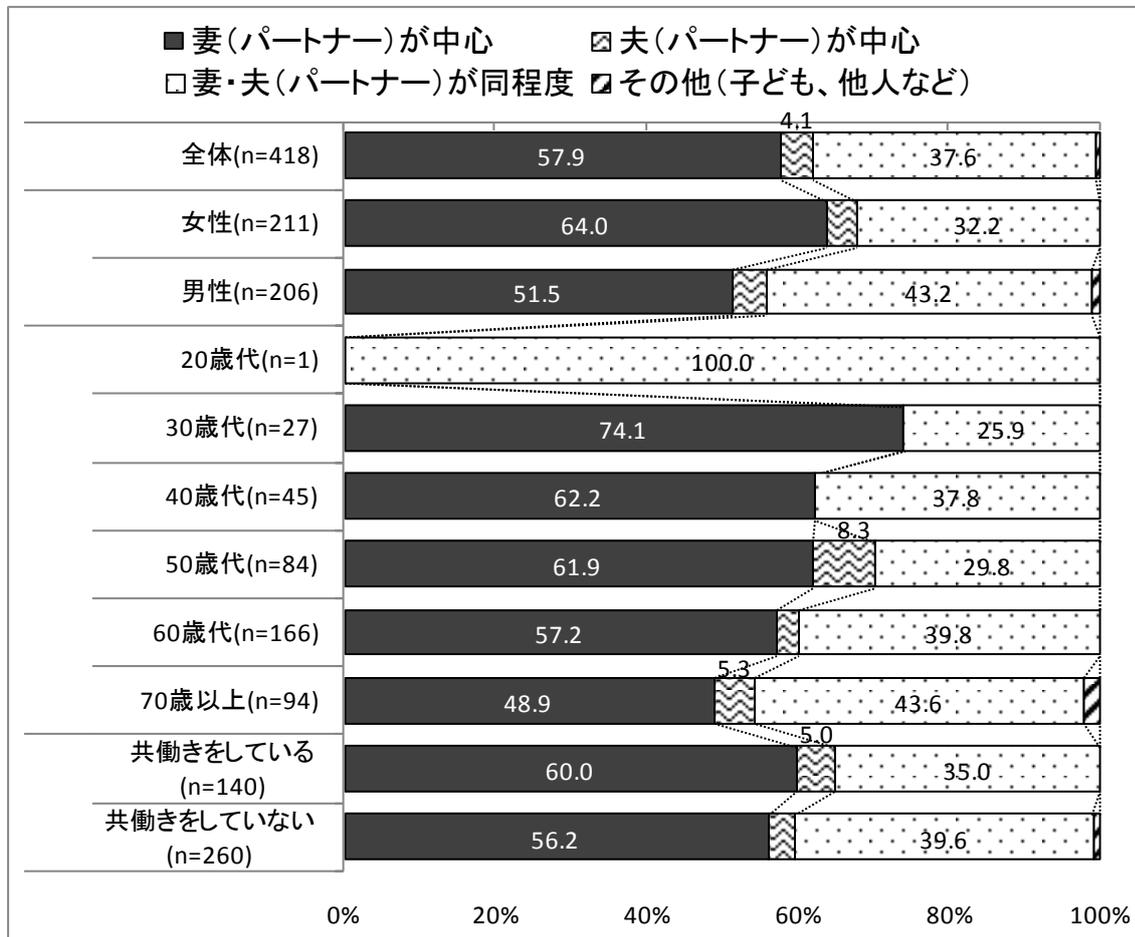
前回調査と比較すると、「妻（パートナー）が中心」の割合が減少し、「妻・夫（パートナー）が同程度」が増加している。

③ 買い物

⇒ 「妻が中心」の割合が高い7項目中第5位で、その割合は約58%

買い物（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（%）



買い物については、全体では、「妻（パートナー）が中心」の割合は57.9%となっているが、「夫（パートナー）が中心」「妻・夫（パートナー）が同程度」は41.7%と男性の参加が比較的多くなっている。

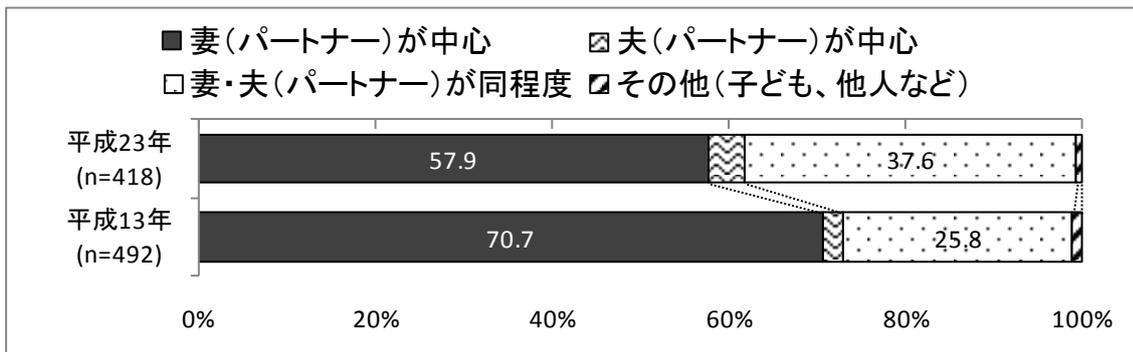
性別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、20歳代を除き年代が上がるにつれて低くなっている。

共働き別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、共働きをしている人の方が高くなっている。

買い物（前回調査との比較）

単位（％）



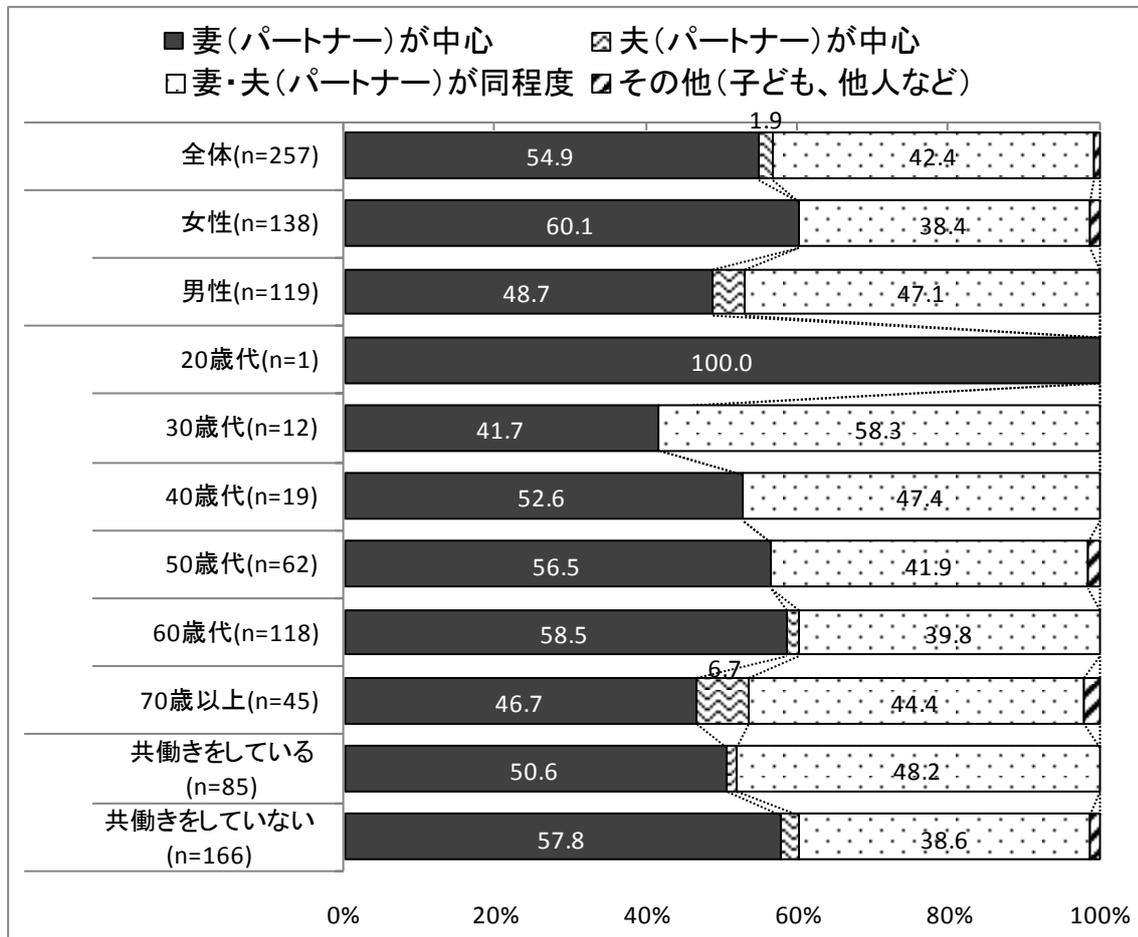
前回調査と比較すると、「妻（パートナー）が中心」の割合が減少し、「妻・夫（パートナー）が同程度」が増加している。

④ 子どもの世話やしつけ

⇒「妻が中心」の割合が高い7項目中第7位で、その割合は約55%

子どもの世話やしつけ（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（%）



子どもの世話やしつけについては、全体では、「妻（パートナー）が中心」の割合が54.9%となっているが、「夫（パートナー）が中心」「妻・夫（パートナー）が同程度」も44.3%と男性の参加が比較的多くなっている。

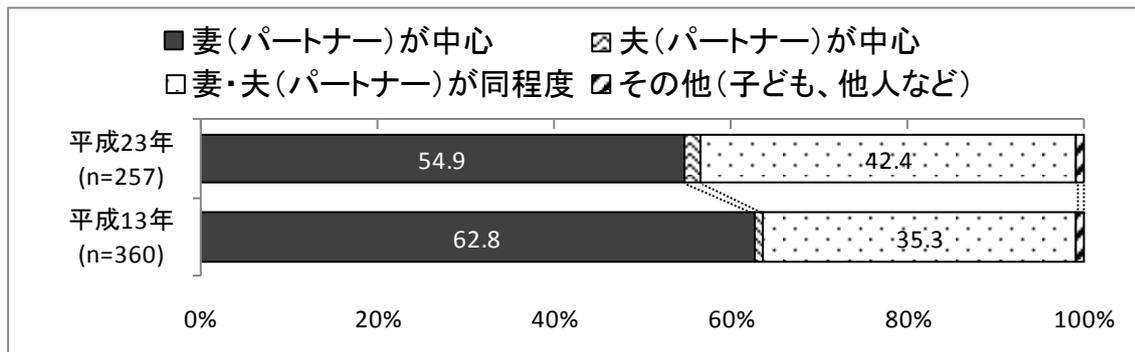
性別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、20歳代と70歳以上を除き年代が上がるにつれて高くなっている。

共働き別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、共働きをしていない人の方が高くなっている。

子どもの世話やしつけ（前回調査との比較）

単位（％）



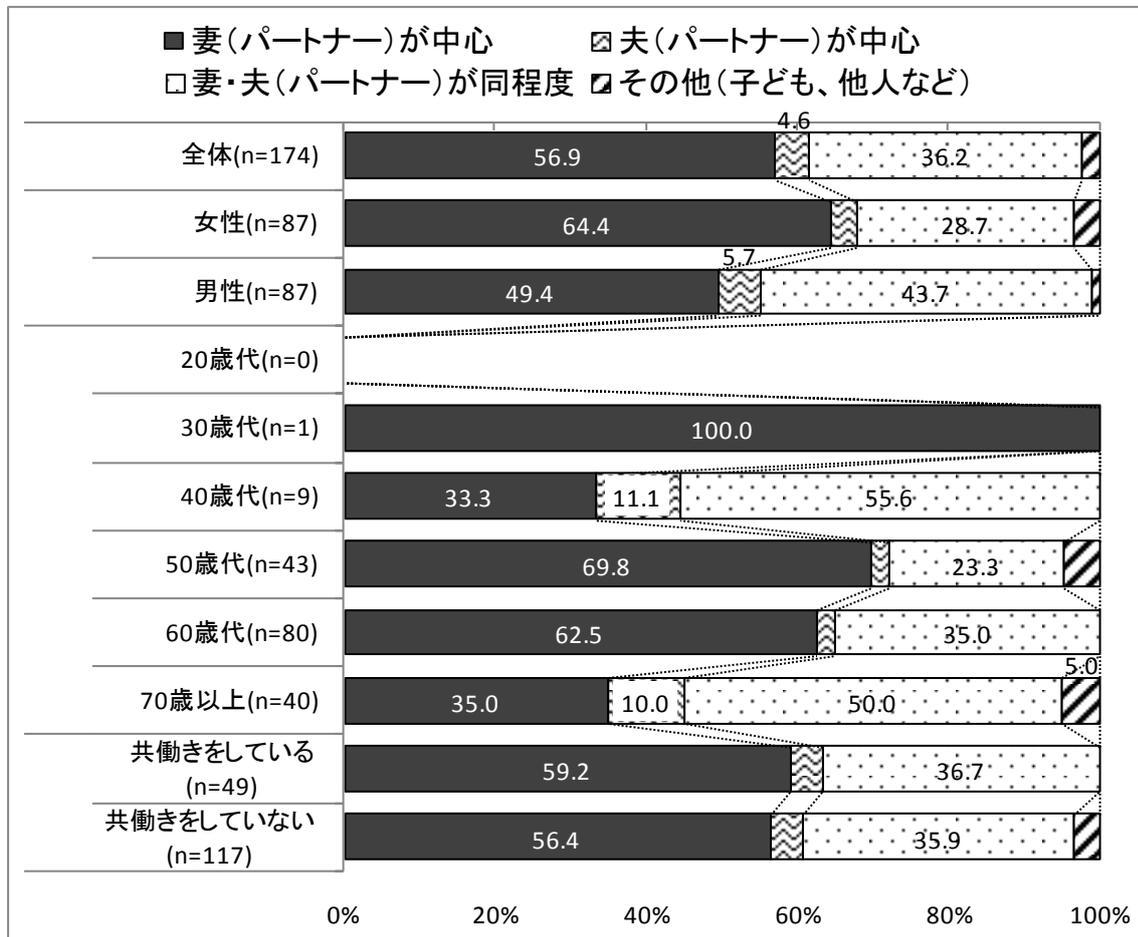
前回調査と比較すると、「妻（パートナー）が中心」の割合が減少し、「妻・夫（パートナー）が同程度」が増加している。

⑤ 家族の介護

⇒「妻が中心」の割合が高い7項目中第6位で、その割合は約57%

家族の介護（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（％）



家族の介護については、全体では、「妻（パートナー）が中心」の割合が56.9%となっているが、「夫（パートナー）が中心」「妻・夫（パートナー）が同程度」も40.8%と男性の参加が比較的多くなっている。

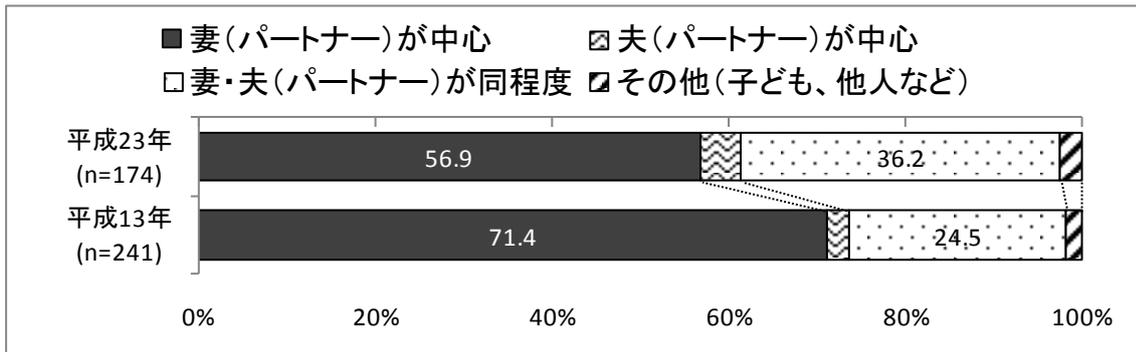
性別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、50歳以上では年代が上がるにつれて「妻（パートナー）が中心」の割合が低くなり、「夫（パートナー）が中心」「妻・夫（パートナー）が同程度」が高くなっている。

共働き別で見ると、違いは余り見られない。

家族の介護（前回調査との比較）

単位（％）



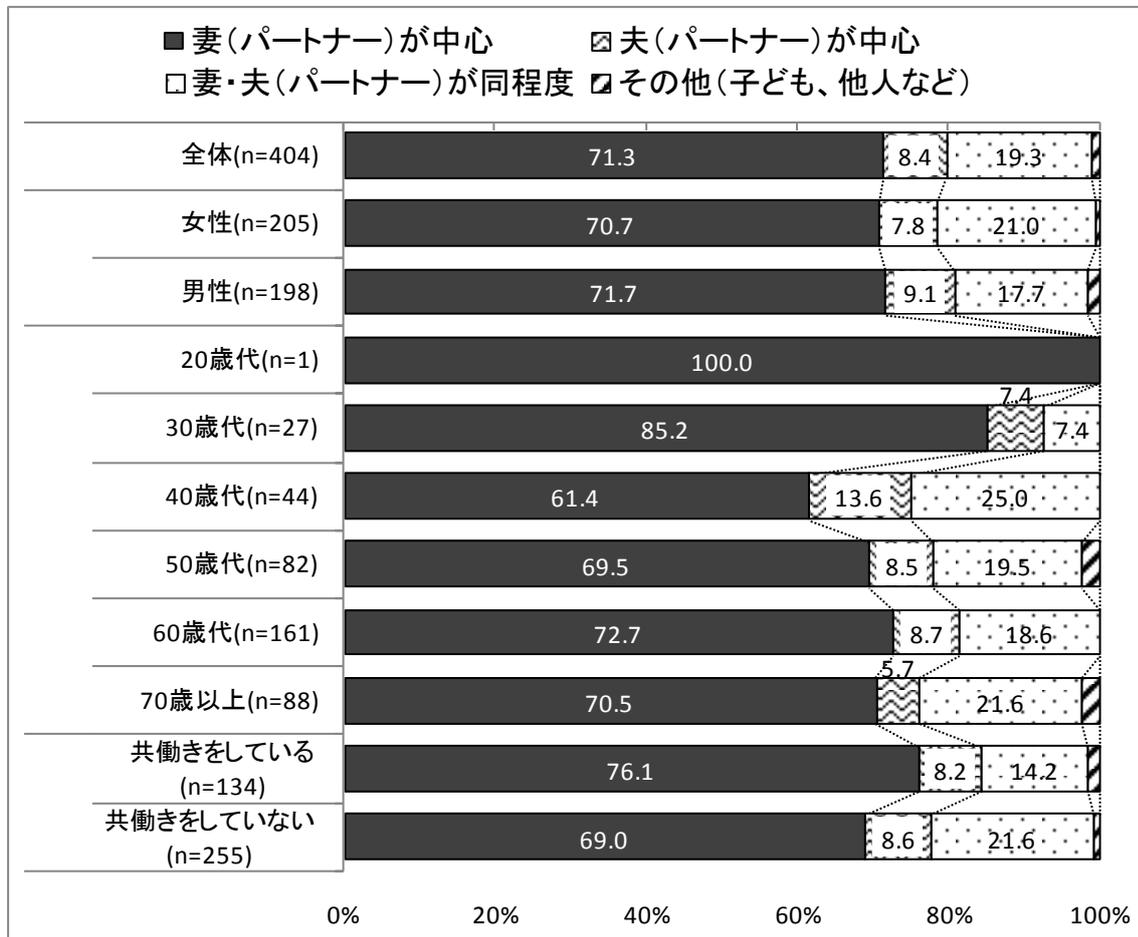
前回調査と比較すると、「妻（パートナー）が中心」の割合が減少し、「妻・夫（パートナー）が同程度」が増加している。

⑥ 家計の管理

⇒「妻が中心」の割合が高い7項目中第4位で、その割合は約71%

家計の管理（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（%）



家計の管理については、全体では、「妻（パートナー）が中心」の割合が71.3%と最も高くなっている。

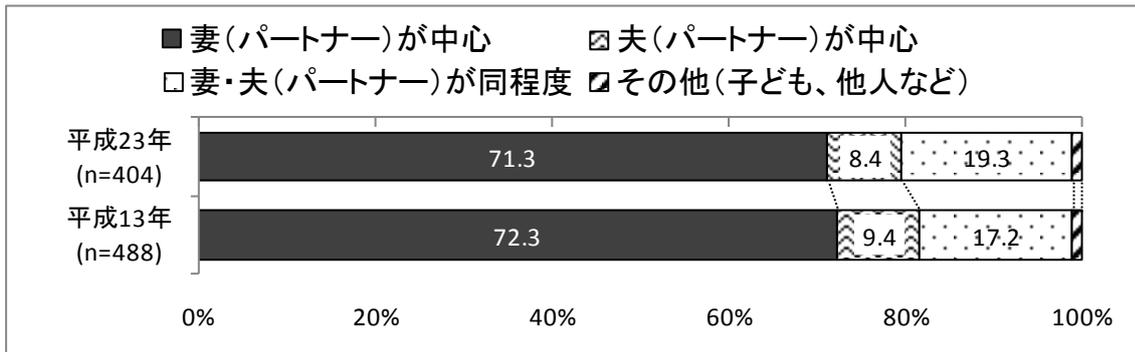
性別で見ると、男女による違いは余り見られない。

年代別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、20歳代を除く30歳代で最も高くなっている。

共働き別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、共働きをしている人の方が高くなっている。

家計の管理（前回調査との比較）

単位（％）

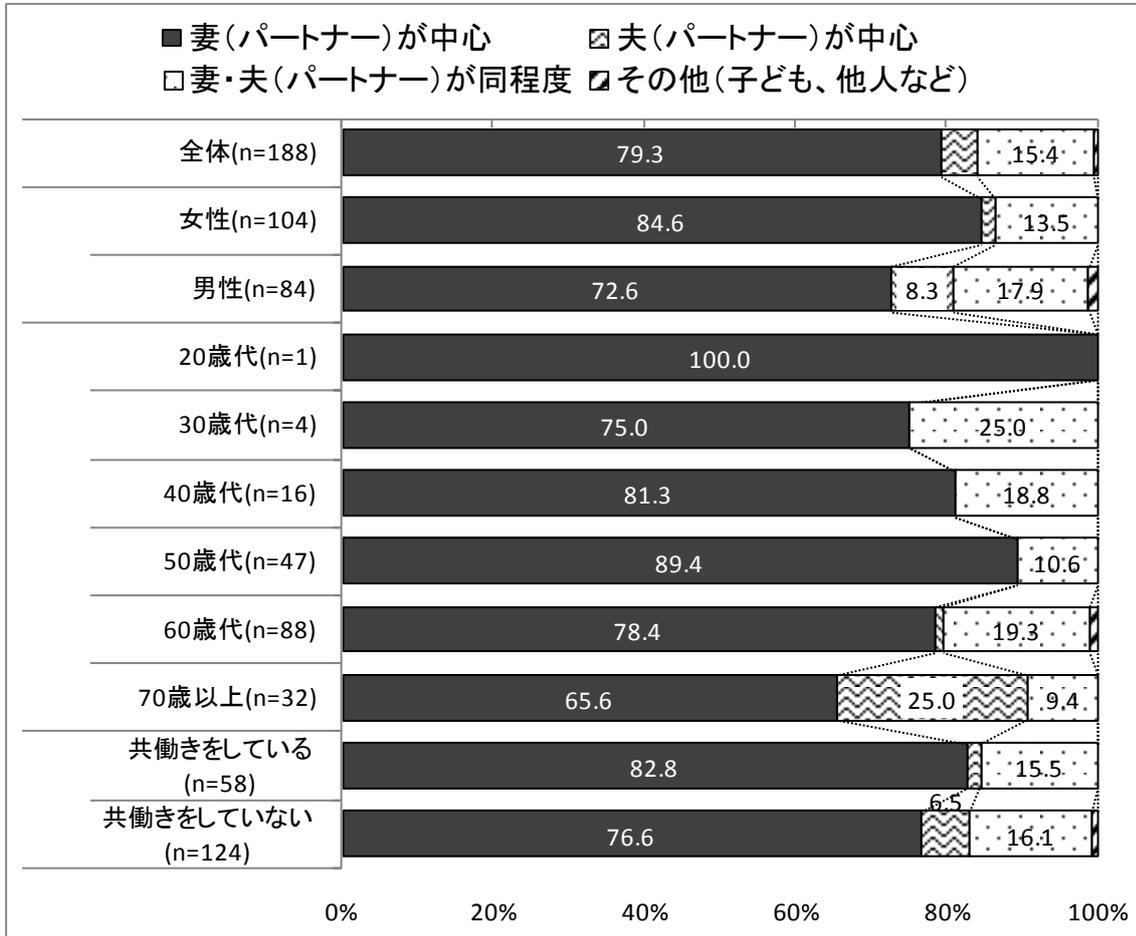


前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。

⑦ 学校行事やPTA活動など

⇒「妻が中心」の割合が高い7項目中第3位で、その割合は約79%

学校行事やPTA活動など（全体・性別・年代別・共働き別） 単位（%）



学校行事やPTA活動などについては、全体では、「妻(パートナー)が中心」の割合が79.3%で、炊事、掃除・洗濯に次いで「妻が中心」の割合が高い項目となっている。

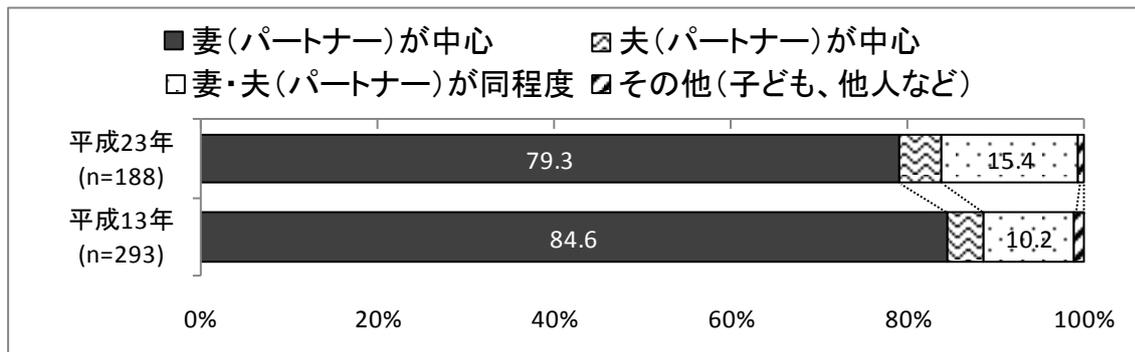
性別で見ると、「妻(パートナー)が中心」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「妻(パートナー)が中心」の割合は、20歳代を除く50歳代で最も高くなっている。

共働き別で見ると、「妻(パートナー)が中心」の割合は、共働きをしている人の方が高くなっている。

学校行事やPTA活動など（前回調査との比較）

単位（％）



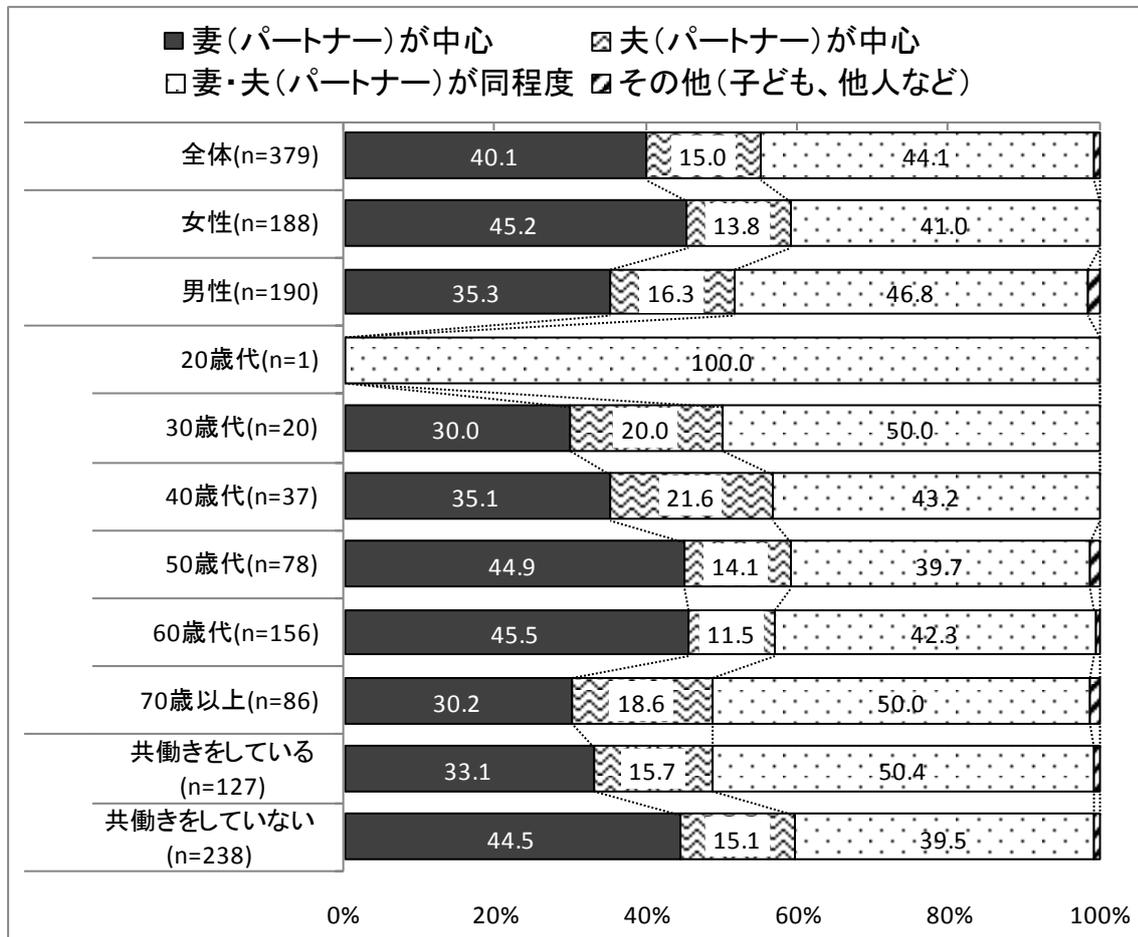
前回調査と比較すると、「妻（パートナー）が中心」の割合が減少し、「妻・夫（パートナー）が同程度」が増加している。

⑧ 地域活動や近所付き合い

⇒「妻が中心」と「妻・夫が同程度」がほぼ同じ割合

地域活動や近所付き合い（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（％）



地域活動や近所付き合いについては、全体では、「妻・夫（パートナー）が同程度」の割合が44.1%となっているが、「妻（パートナー）が中心」も40.1%とほぼ同じとなっている。

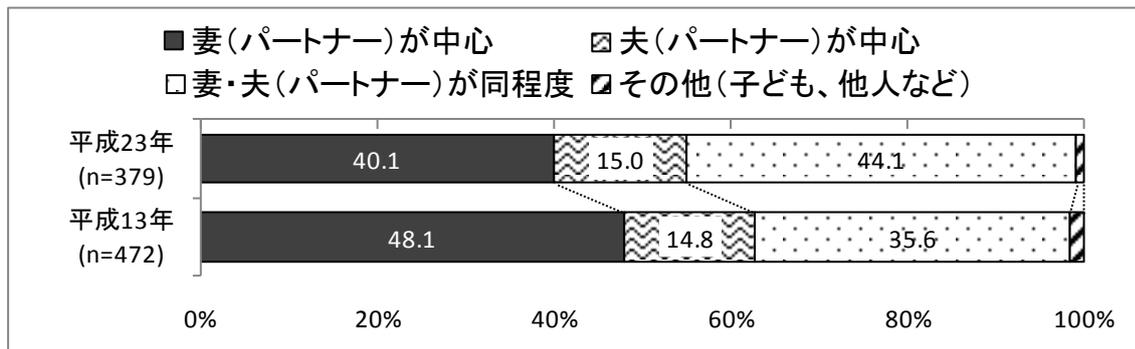
性別で見ると、「妻・夫（パートナー）が同程度」の割合は、男性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「妻・夫（パートナー）が同程度」の割合が30歳代、70歳以上で50.0%となっており、20歳代を除く他の年代より高くなっている。

共働き別で見ると、「妻・夫（パートナー）が同程度」の割合は、共働きをしている人の方が高くなっている。

地域活動や近所付き合い（前回調査との比較）

単位（％）



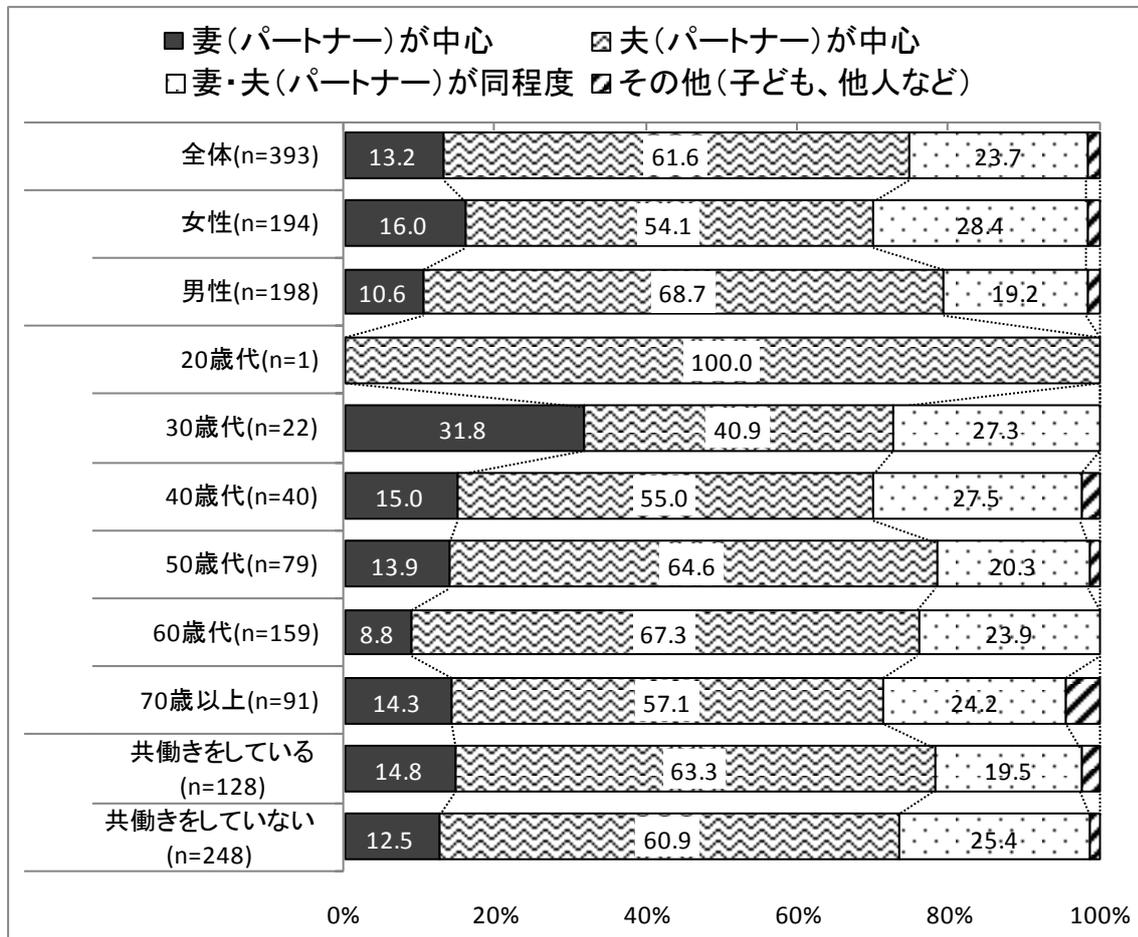
前回調査と比較すると、「妻（パートナー）が中心」の割合が減少し、「妻・夫（パートナー）が同程度」が増加している。

⑨ 除雪

⇒家事の内、除雪のみ「夫が中心」が約62%と高い。

除雪（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（％）



除雪については、全体では、「夫（パートナー）が中心」の割合が61.6%で最も高く、次いで「妻・夫（パートナー）が同程度」が23.7%、「妻（パートナー）が中心」が13.2%と続いている。

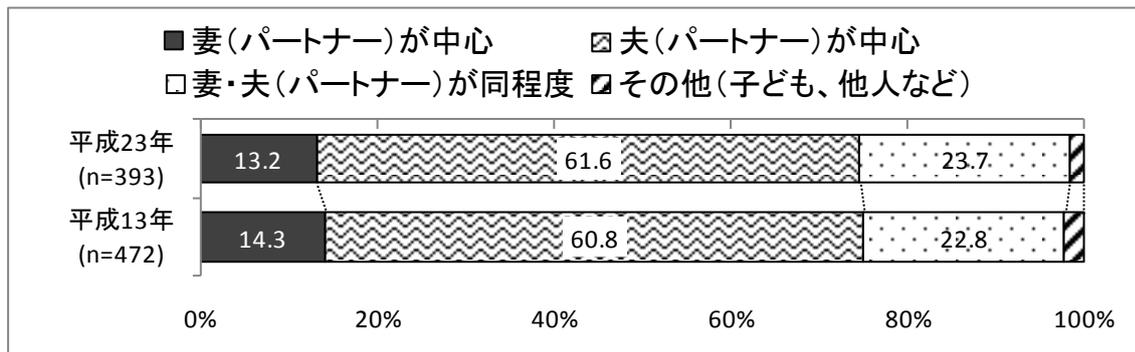
性別で見ると、「夫（パートナー）が中心」の割合は、男性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「夫（パートナー）が中心」の割合は、20歳代、70歳以上を除き年代が上がるにつれて高くなっている。

共働き別で見ると、違いは余り見られない。

除雪（前回調査との比較）

単位（％）



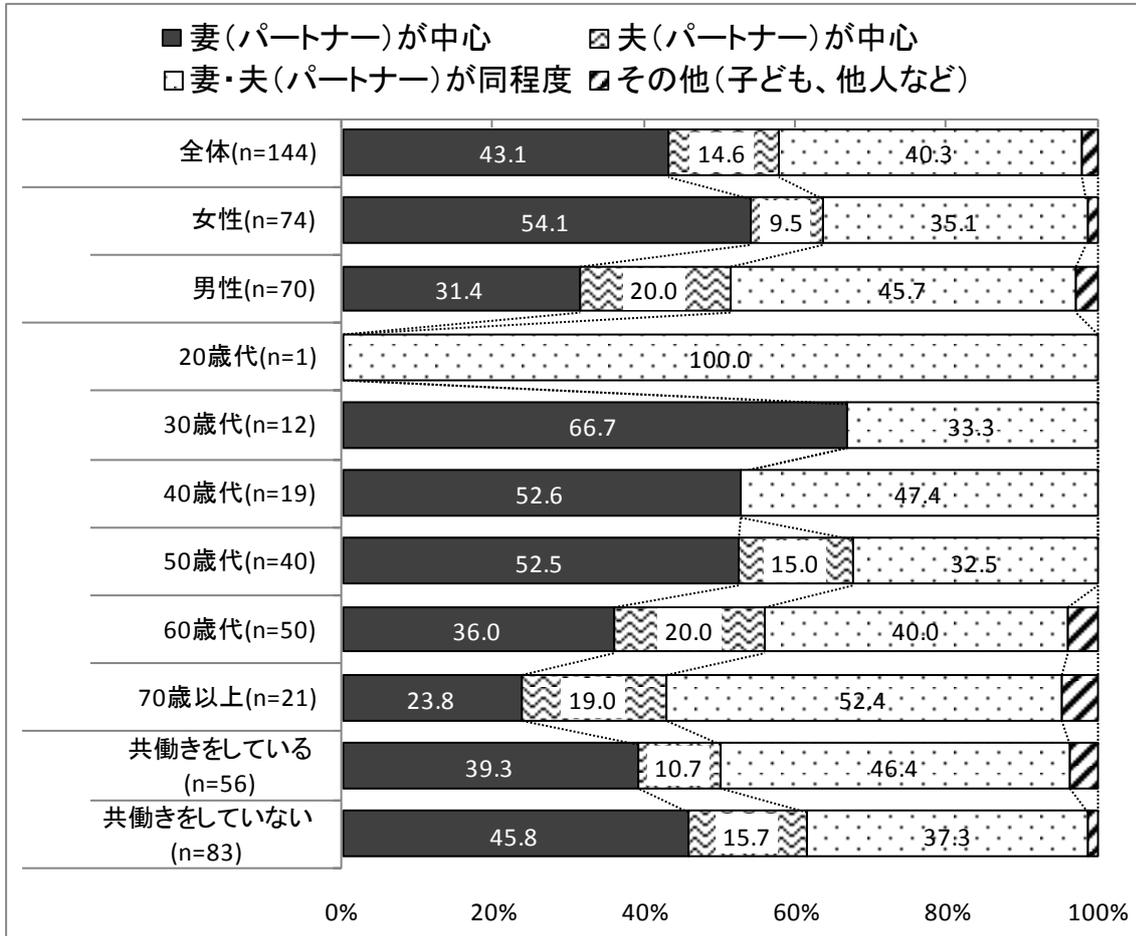
前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。

⑩ ペットの世話

⇒ 「妻が中心」と「妻・夫が同程度」がほぼ同じ割合

ペットの世話（全体・性別・年代別・共働き別）

単位（％）



ペットの世話については、全体では、「妻（パートナー）が中心」の割合は43.1%となっているが、「妻・夫（パートナー）が同程度」も40.3%とほぼ同じとなっている。

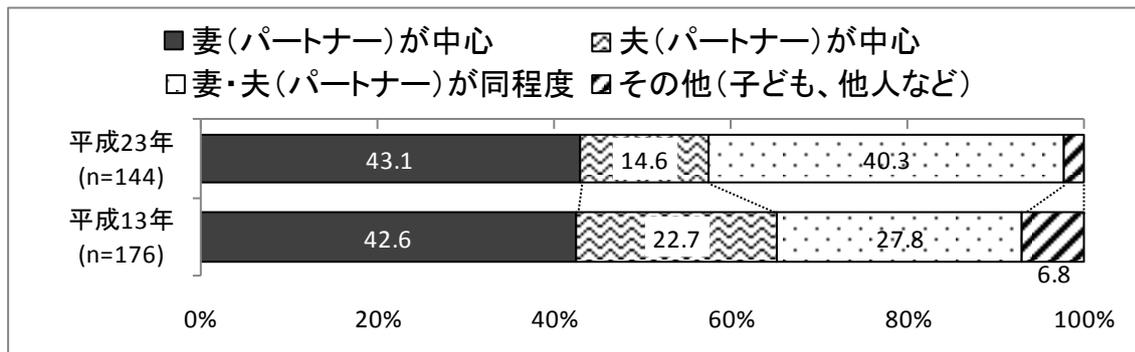
性別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、20歳代を除き年代が上がるにつれて低くなっている。

共働き別で見ると、「妻（パートナー）が中心」の割合は、共働きをしていない人の方が高くなっている。

ペットの世話（前回調査との比較）

単位（％）



前回調査と比較すると、「夫（パートナー）が中心」の割合が減少し、「妻・夫（パートナー）が同程度」が増加している。

問9 子育ての考え方について

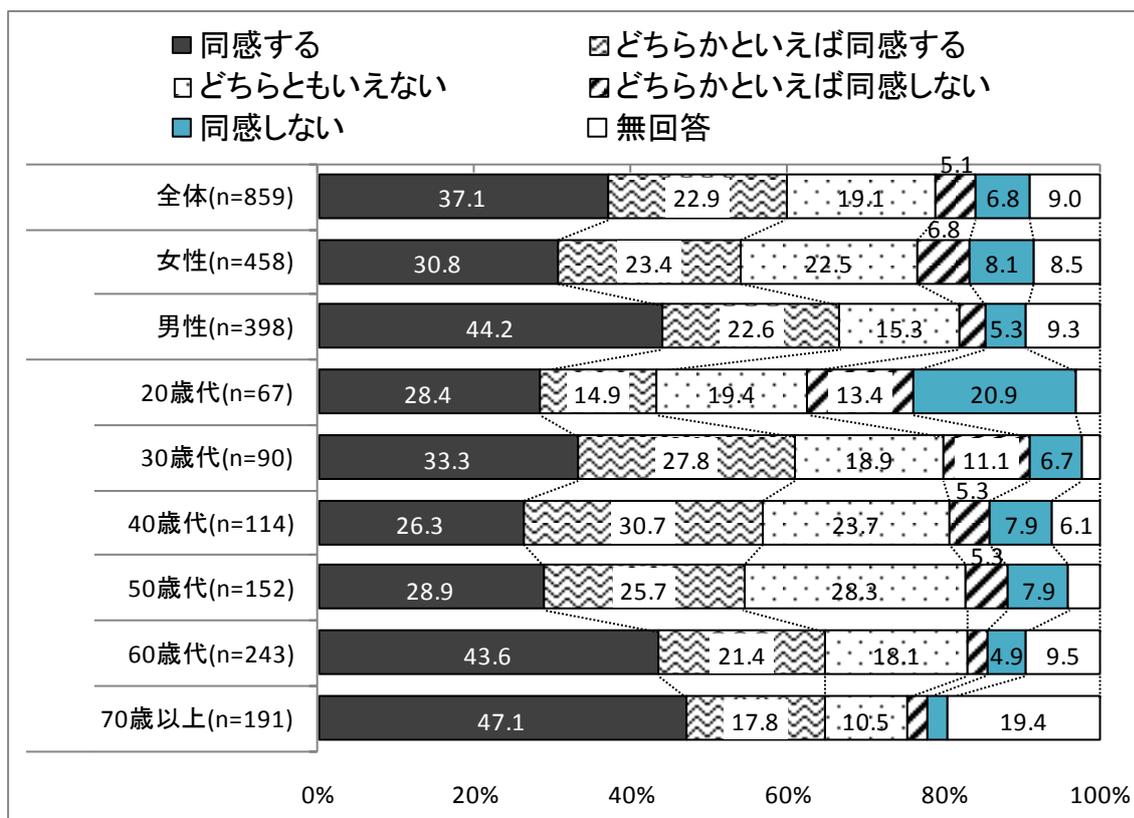
子育てについて様々な考え方があります。あなたはどのように考えますか。次の項目について、下の選択肢から1つを選んで番号を記入してください。

- ① 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい。

⇒半数以上の人が子どもに「女(男)らしさ」を望んでいる。

女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい

(全体・性別・年代別) 単位 (%)



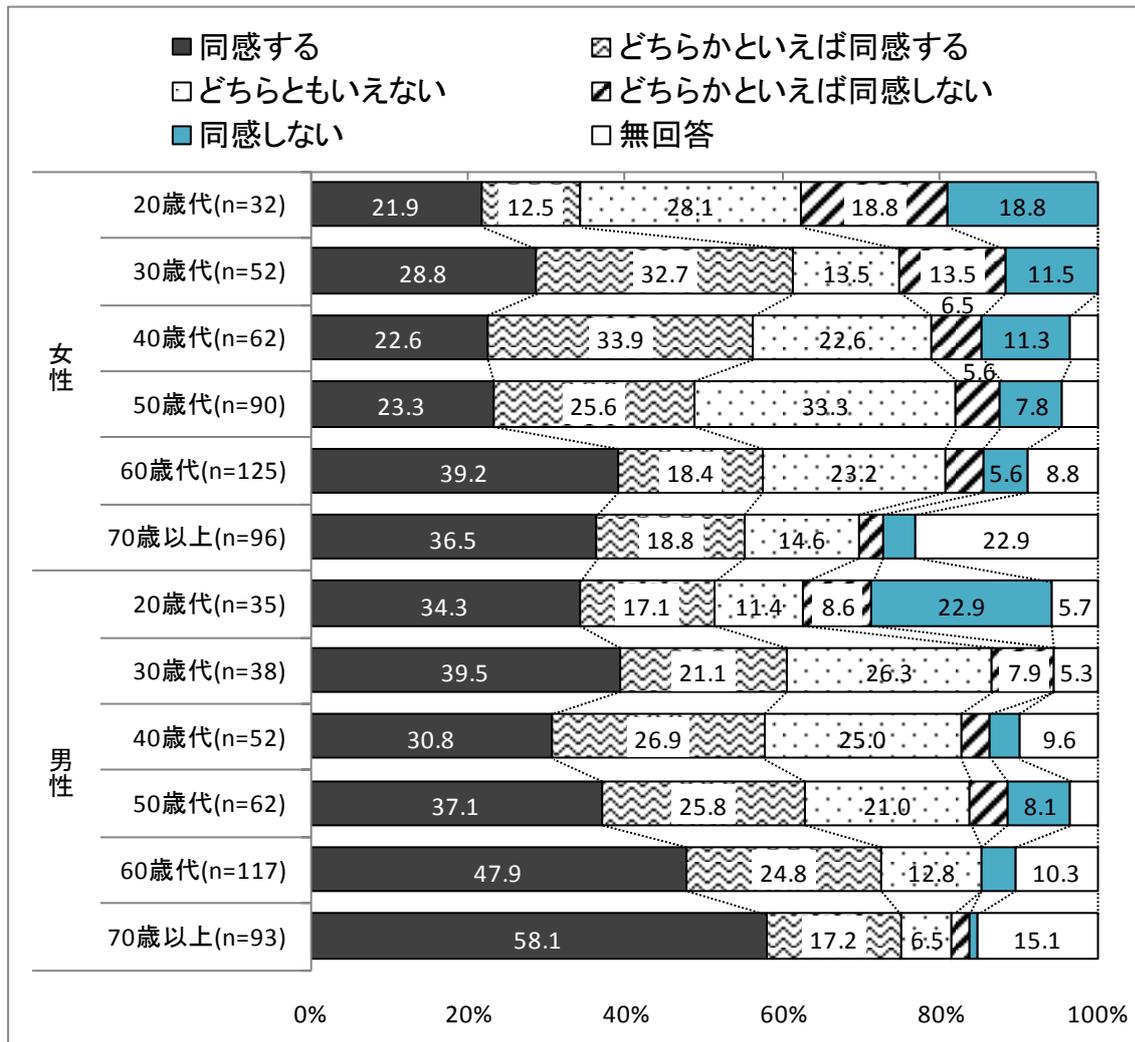
「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい」という考え方について聞いたところ、全体では、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が60.0%で、「同意しない」「どちらかといえば同意しない」の11.9%を大きく上回っている。

性別で見ると、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、男性の方が12.6ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が60歳以上で最も高く約65%、20歳代で最も低く43.3%となっている。

女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい

(性×年代別) 単位 (%)

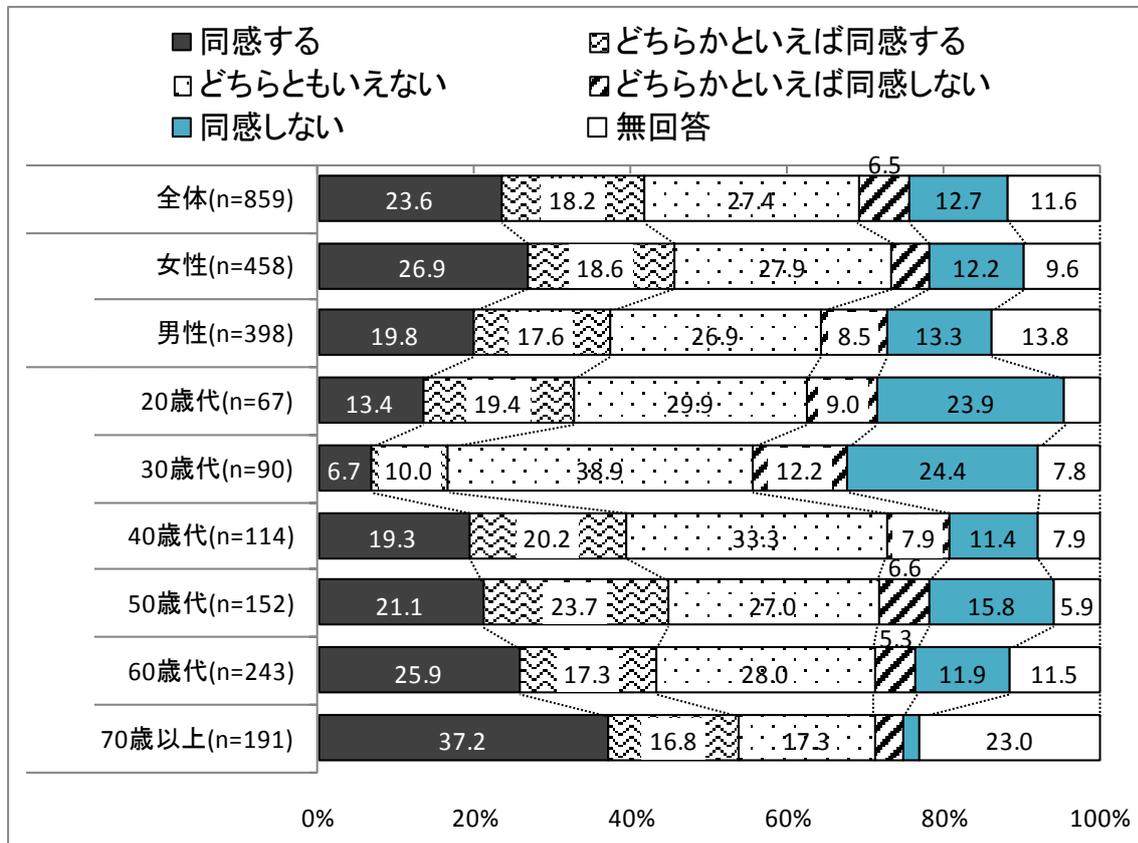


性×年代別で見ると、女性では「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、20歳代を除く全ての年代で高くなっている。男性では「同意する」「どちらかといえば同意する」は、年代が上がるにつれて高い傾向となっている。

② 3歳くらいまでは母親が育てた方がよい。

⇒約42%の人が「3歳くらいまでは母親が育てた方がよい」と考えている。

3歳くらいまでは母親が育てた方がよい（全体・性別・年代別） 単位（％）



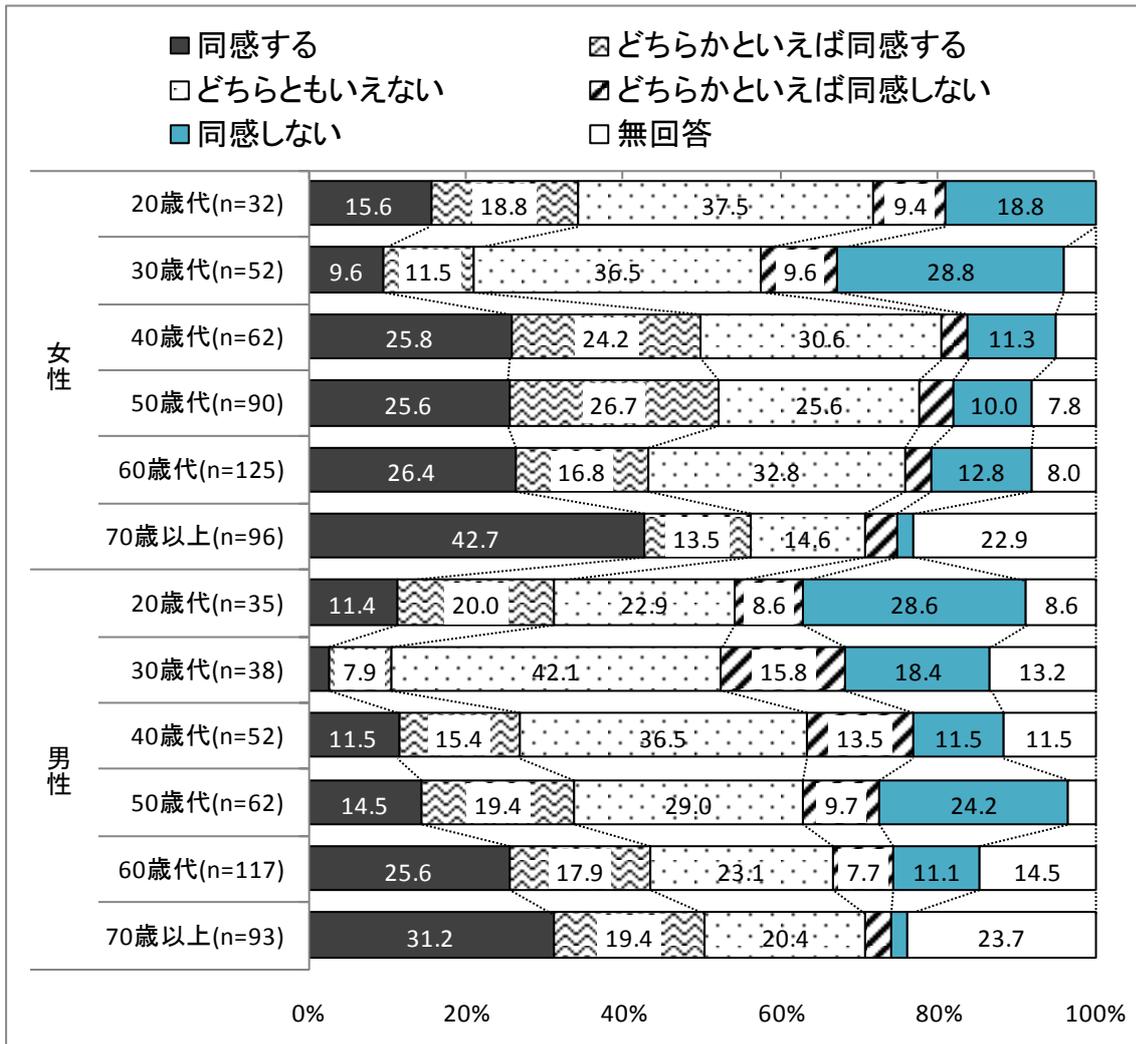
「3歳くらいまでは母親が育てた方がよい」という考え方について聞いたところ、全体では、「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合が41.8%で、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の19.2%を上回っている。

性別で見ると、「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合が、女性では45.5%、男性では37.4%で、女性の方が男性よりも母親による子育てについて肯定的となっている。

年代別で見ると、「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合は30歳代で極端に低く、年代が上がるにつれて高くなる傾向となっている。

3歳くらいまでは母親が育てた方がよい（性×年代別）

単位（％）

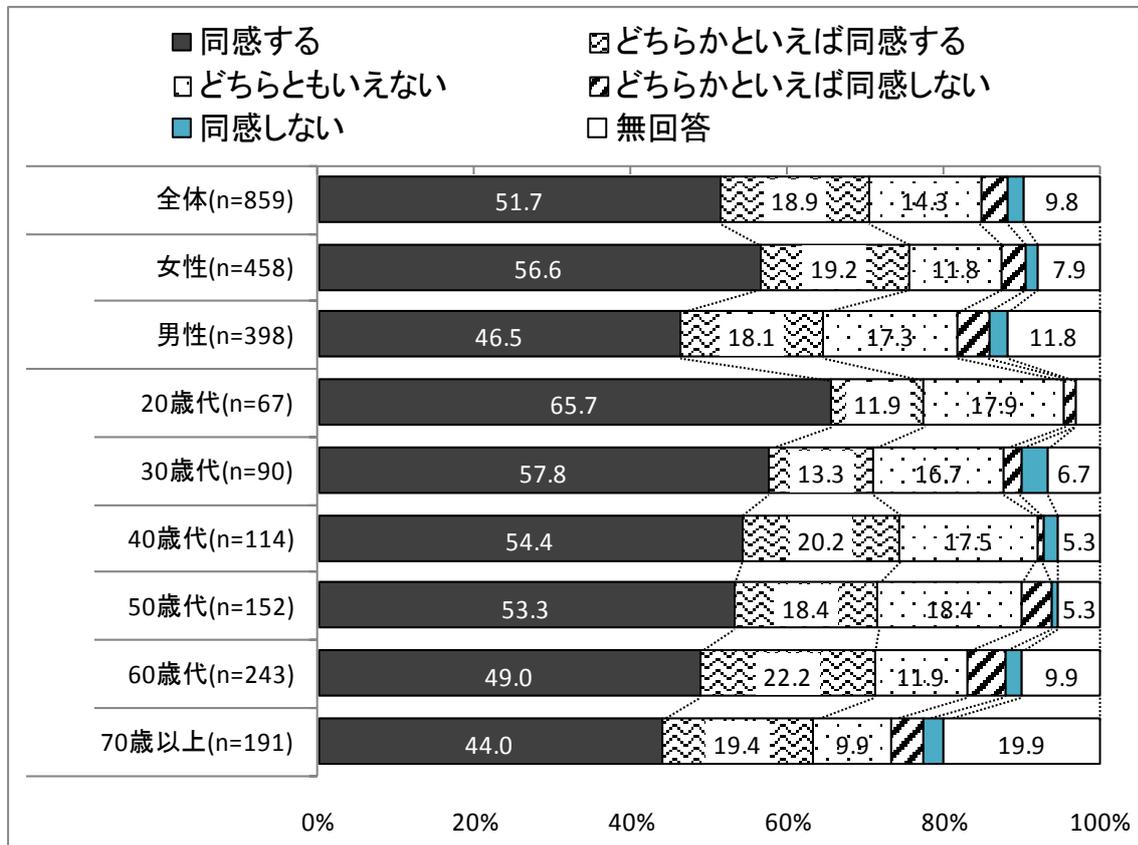


性×年代別で見ると、男女とも「同感する」「どちらかといえば同感する」の割合は30歳代で極端に低く、年代が上がるにつれて高くなる傾向となっている。

③ 家事の手伝いは男女平等にさせる方がよい。

⇒約71%の人が「家事の手伝いは男女平等にさせる方がよい」と考えている。

家事の手伝いは男女平等にさせる方がよい（全体・性別・年代別）単位（％）



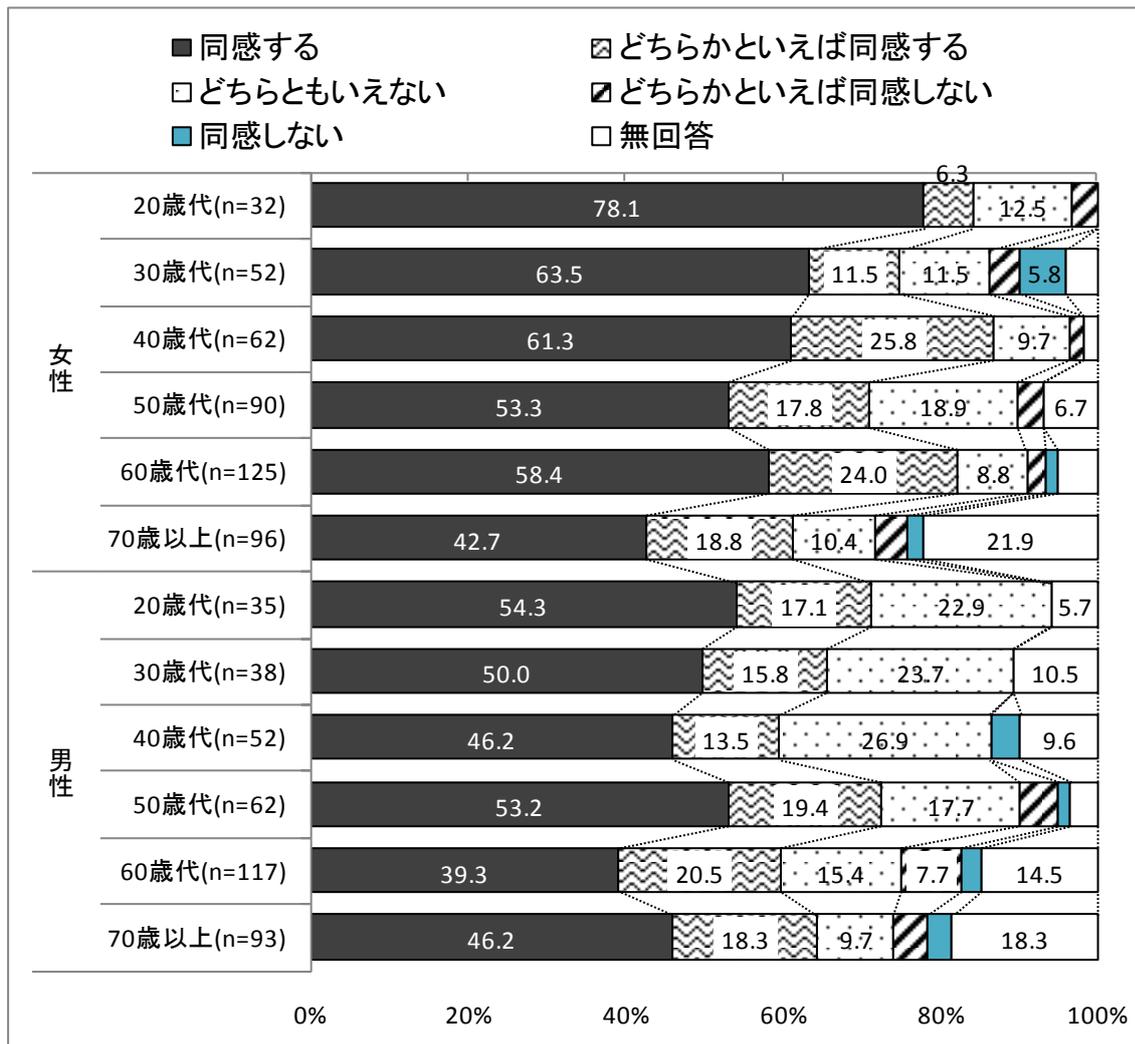
「家事の手伝いは男女平等にさせる方がよい」という考え方について聞いたところ、全体では、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が70.6%と最も高くなっている。

性別で見ると、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、女性の方が11.2ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合は、年代が若いほど高い傾向となっている。

家事の手伝いは男女平等にさせる方がよい（性×年代別）

単位（％）



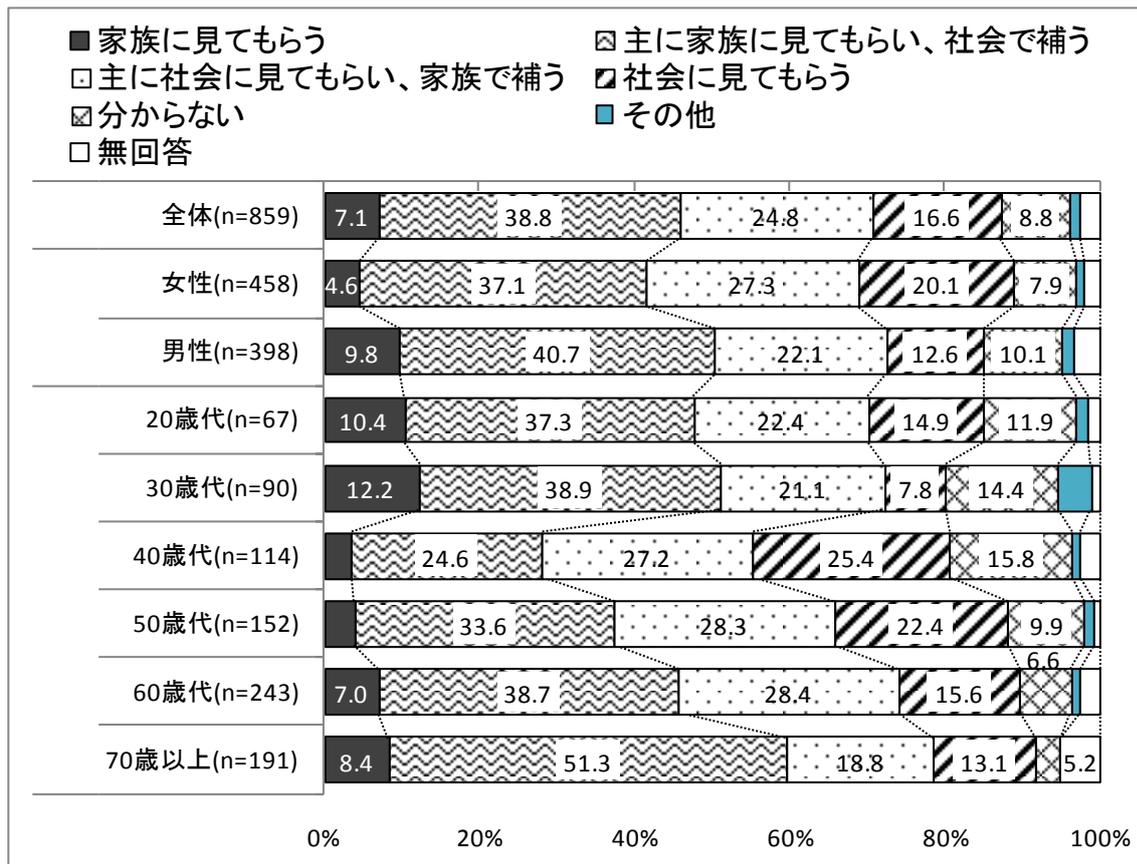
性×年代別で見ると、男女とも年代でばらつきはあるものの、「同意する」「どちらかといえば同意する」の割合が高くなっている。

問10 自分の世話を誰に見てもらいたいか

あなたは、身の回りのことが自分でできなくなったとき、誰に見てもらうのがよいと思いますか。当てはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

⇒「家族に見てもらいたい」派と「社会に見てもらいたい」派がほぼ同じ割合

自分の世話を誰に見てもらいたいか（全体・性別・年代別） 単位（％）



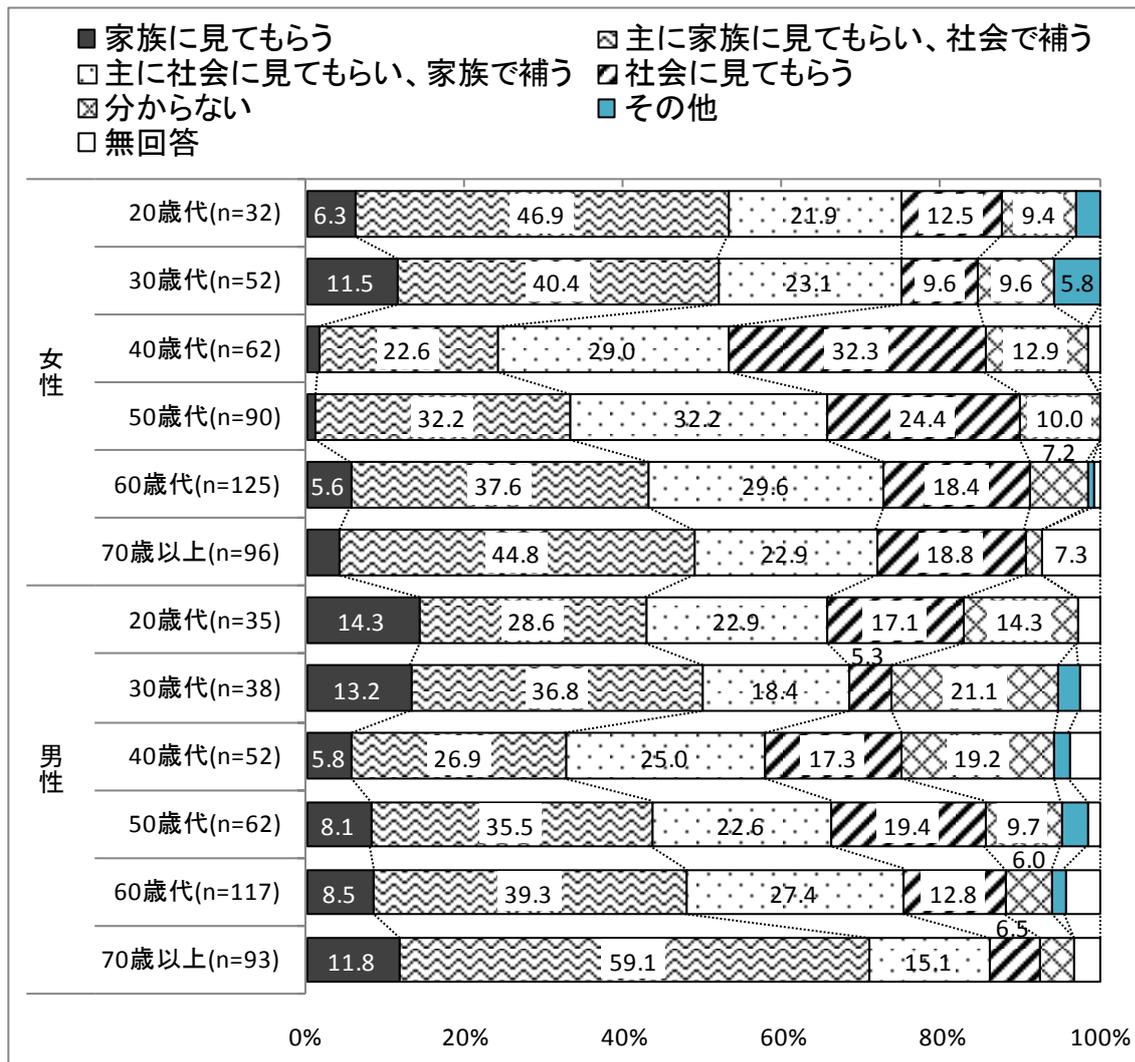
自分の世話を誰に見てもらいたいか聞いたところ、全体では、「家族に見てもらう」「主に家族に見てもらい、社会で補う」の割合が45.9%、「社会に見てもらう」「主に社会に見てもらい、家族で補う」が41.4%となっている。

性別で見ると、女性では「社会に見てもらう」「主に社会に見てもらい、家族で補う」の割合の方が、「家族に見てもらう」「主に家族に見てもらい、社会で補う」よりも高くなっているが、男性では反対に「家族に見てもらう」「主に家族に見てもらい、社会で補う」の方が高くなっている。

年代別で見ると、「家族に見てもらう」「主に家族に見てもらい、社会で補う」の割合が70歳以上で最も高く、「社会に見てもらう」「主に社会に見てもらい、家族で補う」が40歳代で最も高くなっている。

自分の世話を誰に見てもらいたいか（性×年代別）

単位（％）

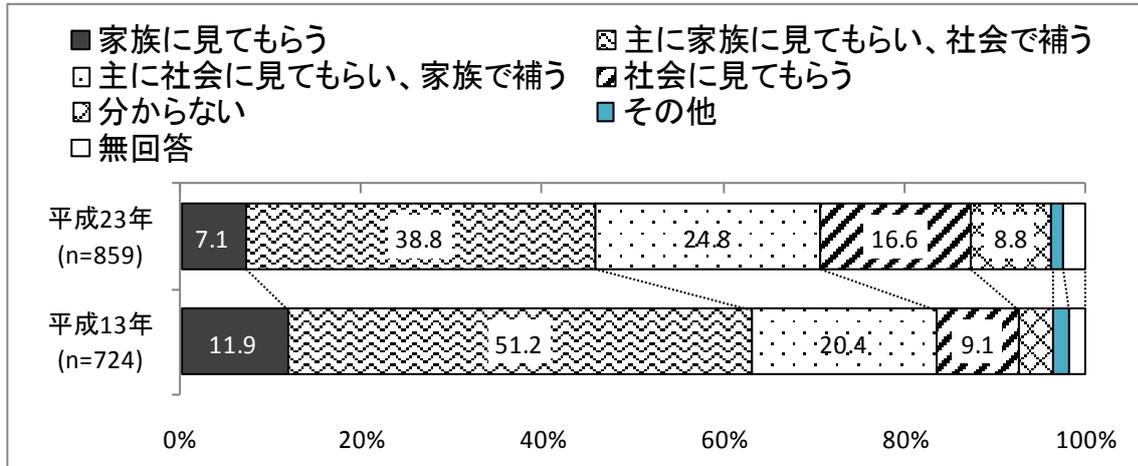


性×年代別で見ると、女性の40～60歳代では、「社会に見てもらう」「主に社会に見てもらい、家族で補う」の割合の方が、「家族に見てもらう」「主に家族に見てもらい、社会で補う」よりも高くなっている。

男性の40歳代を除く全ての年代では、「家族に見てもらう」「主に家族に見てもらい、社会で補う」の方が高くなっている。

自分の世話を誰に見てもらいたいか（前回調査との比較）

単位（％）



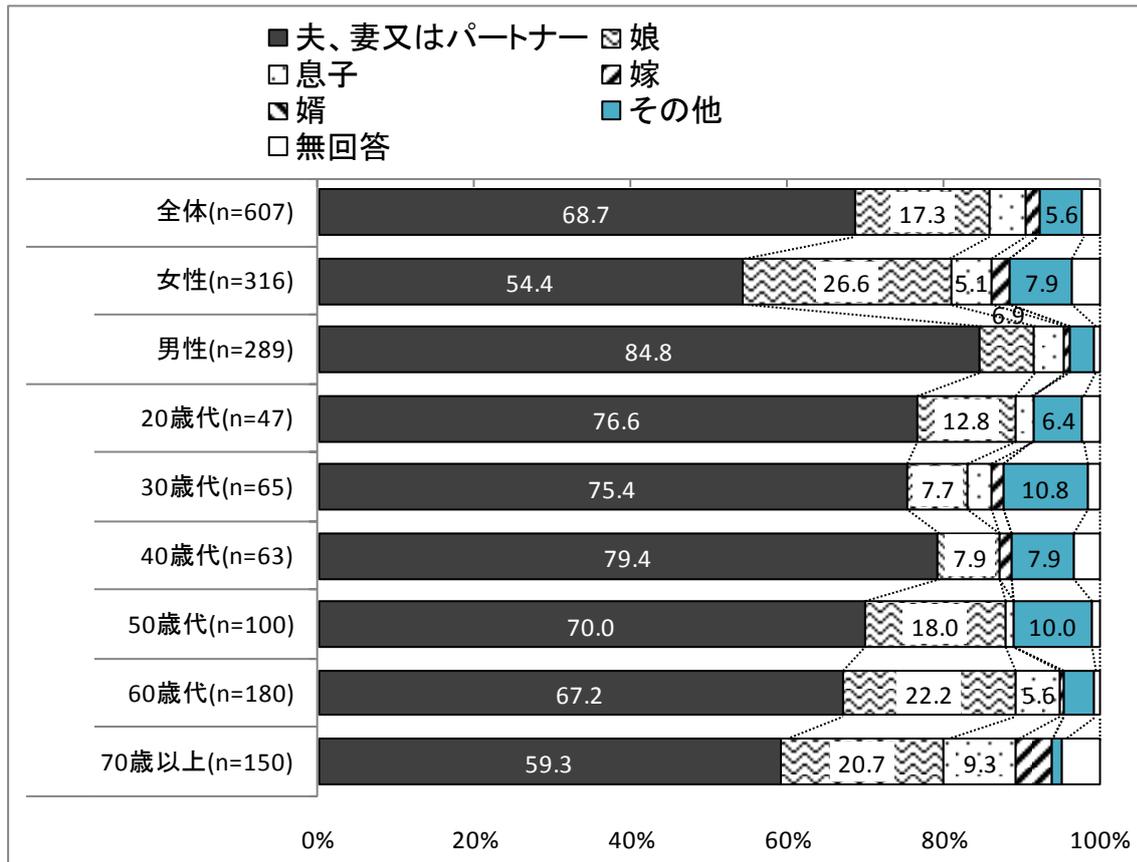
前回調査と比較すると、「家族に見てもらう」「主に家族に見てもらい、社会で補う」の割合が減少し、「社会に見てもらう」「主に社会に見てもらい、家族で補う」が増加している。

問11 家族に見てもらふ場合は誰に頼みたいか

問10で①～③に○をつけた方で、家族に見てもらふとき、誰に一番頼みたいですか。当てはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

⇒夫、妻に見てもらいたい人が約69%、男性の方が特にその傾向は強い。

家族に見てもらふ場合は誰に頼みたいか (全体・性別・年代別) 単位 (%)



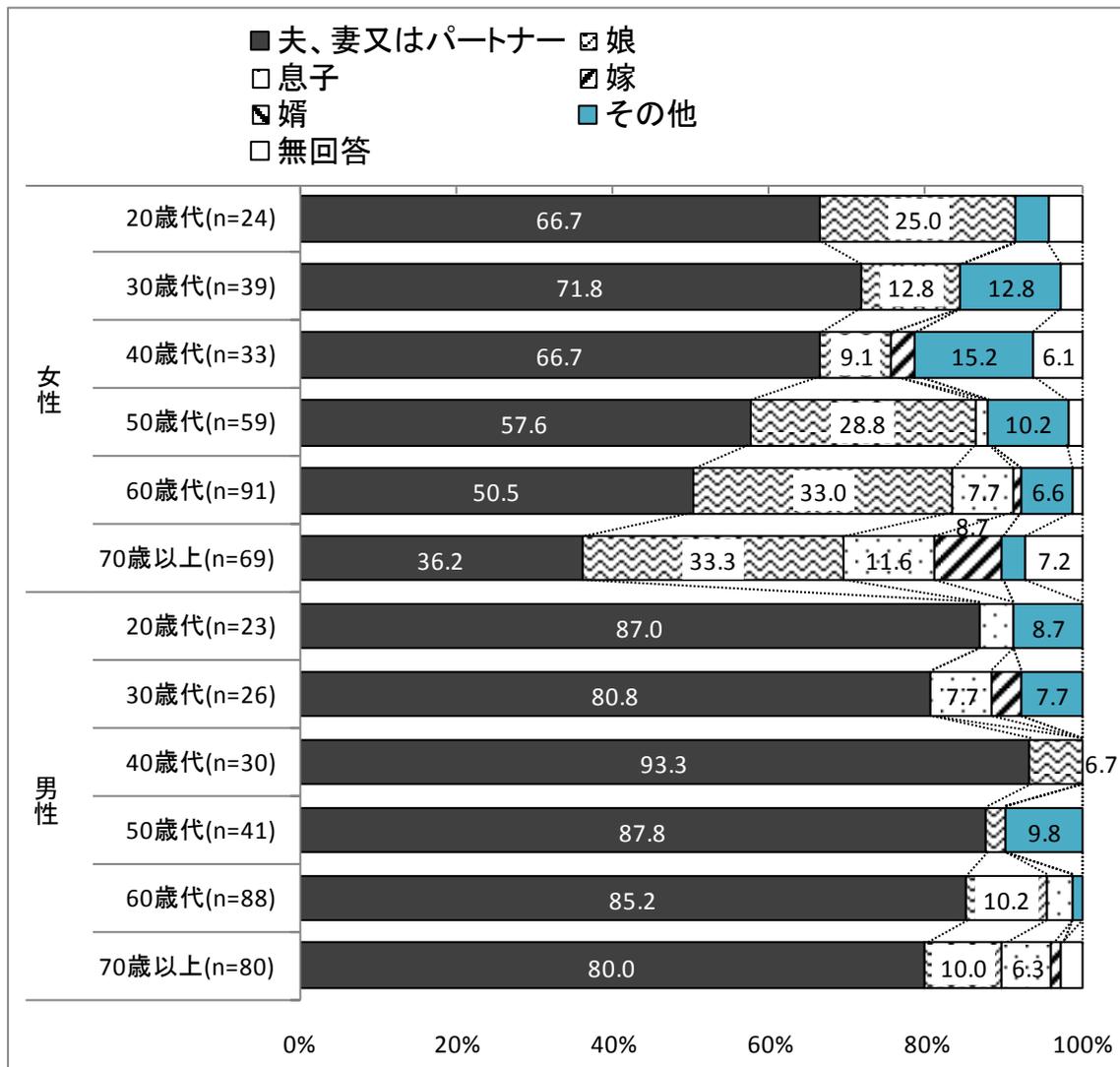
家族に見てもらふ場合は誰に頼みたいか聞いたところ、全体では、「夫、妻又はパートナー」の割合が68.7%で最も高く、次いで「娘」の17.3%となっている。

性別で見ると、「夫、妻又はパートナー」の割合が、女性で54.4%、男性で84.8%となっており、「娘」については、女性で26.6%、男性で6.9%となっている。

年代別で見ると、「夫、妻又はパートナー」の割合は、年代が上がるにつれて低い傾向となっている。

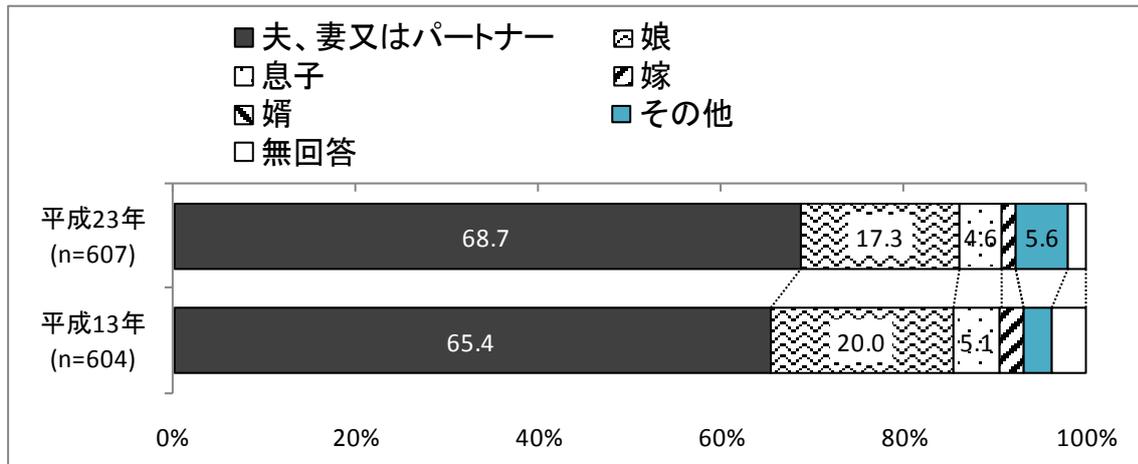
家族に見てもらふ場合は誰に頼みたいか（性×年代別）

単位（％）



性×年代別で見ると、女性では、「夫、妻又はパートナー」の割合は、20歳代を除き年代が上がるにつれて低くなり、「娘」は40歳以上で年代が上がるにつれて高くなっている。男性では、「夫、妻又はパートナー」は全ての年代で80%以上となっている。

家族に見てもらう場合は誰に頼みたいか（前回調査との比較） 単位（％）



前回調査と比較すると、「夫、妻又はパートナー」の割合が増加し、「娘」が減少している。